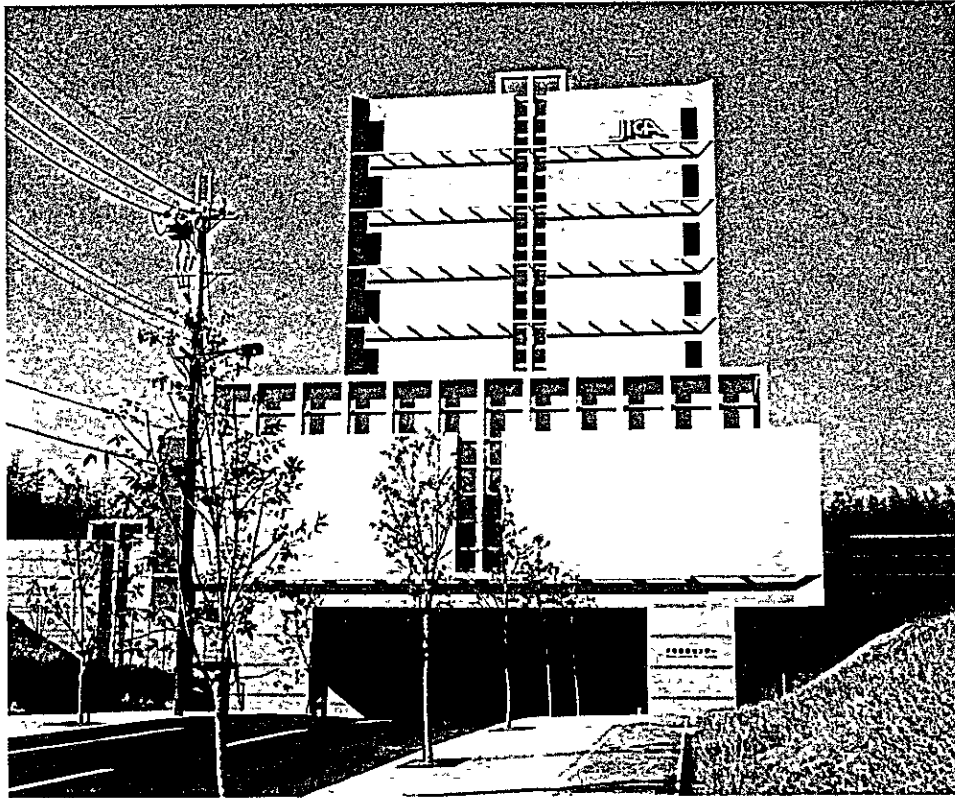


国際協力事業団

大阪国際センター

平成9・10年度 業務報告書



JICA LIBRARY



J1170556[3]



JICA

大阪セ

J R

平成11年3月

は じ め に

大阪国際センターは、平成8年10月に関西支部と統合し、従来の研修員受入事業の他、新たに広報活動や青年海外協力隊等のボランティア事業などにも着手し、関西地域の2府4県における国際協力事業団の総合窓口機関として新たな歩みを開始いたしました。

また、当センターはベット数300と、東京国際研修センターに次ぐ規模の研修員受入施設を有することや、センター開設とほぼ時を同じくして関西国際空港が新規オープンしたこともあり、他センター・支部所管の研修員に対するオリエンテーションや日本語講座を所掌しておりますが、平成9年度には、新たに名古屋国際研修センター所管の研修員へのプリーフィング業務が追加されました。

青年招へい事業についても、平成10年度から、従前は全て東京で実施していた共通プログラム・評価プログラムを当センターでも実施することとなり、全招へい青年の7割近くがその対象となりました。

次に開発教育支援事業につきましても、地域の学校や市民との交流や国際理解への支援、情報公開の観点も含め平成10年度からセンターの実施体制を整備し、本格的な取り組みを開始いたしました。

わが国ODAが国民参加にむけた新たな展開を図るうえで、国際協力事業団の国内センターが自治体や市民団体との連携を促進するために果たすべき役割がますます重要となっており、平成10年度に当センターで始まった「NGOとの連携による参加型村落開発」研修コースは、こうしたニーズに応える連携プログラムであります。

当センターは、関西地域における国際協力事業の拠点施設として、今後とも研修機関、自治体、国際交流団体並びに市民グループとの更なる連携促進を図っていききたいと願っておりますので、関係者の皆様の一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

平成11年3月

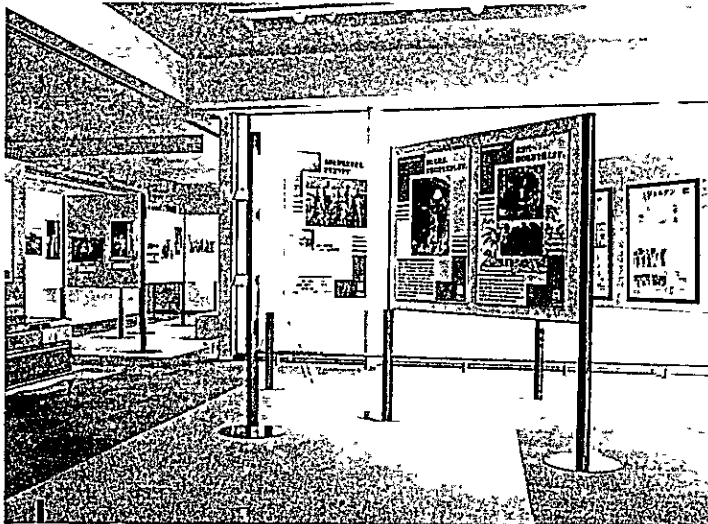
国際協力事業団
大阪国際センター
所長 田 上 実



1170556{3}



研修員受入事業（「自動車整備技術（Ⅱ）」コース）



広報・啓発事業（WTC JICAギャラリー）



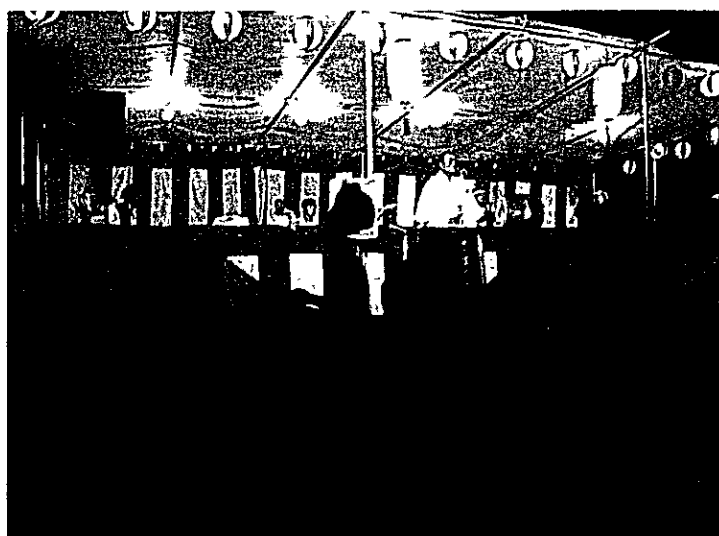
開発教育支援（学校を訪問したJICA研修員の話聞く学生）



青年海外協力事業（ブルガリヤで活躍する美術隊員（和歌山県出身））



青年招へい事業（「太平洋混成・フィジー」の青年たち）



地域交流事業（「道祖本地区盆踊り大会」に参加する研修員）

目 次

はじめに

写 真

第1編 大阪国際センターについて

1. 沿 革	1
2. 組 織	2
3. 施設の概要	3
4. 施設利用実績	5

第2編 事業実績

第1章 研修員受入事業	8
I. 技術研修員	8
1. 集団型研修	8
(1) 集団研修及び一般特設	8
(2) 国別・地域別特設	8
(3) 東欧特設	9
(4) コスト・シェアリング	9
(5) 特別案件	9
2. 個別型研修	9
3. 来日時オリエンテーション	10
(1) プリーフィング	10
(2) ジェネラルオリエンテーション	11
4. 日本語研修	13
5. フォローアップ調査	14
6. 英会話講習	18
7. 研修員福利厚生	20
(1) レクリエーション	20
(2) 健康管理業務	21
II. 日系研修員	22
第2章 青年招へい事業	25
1. 共通プログラム・評価プログラム	25
2. 分野別地方プログラム	25
第3章 青年海外協力隊事業	29
1. 募集説明会及び選考試験	29
(1) 募集説明会	29

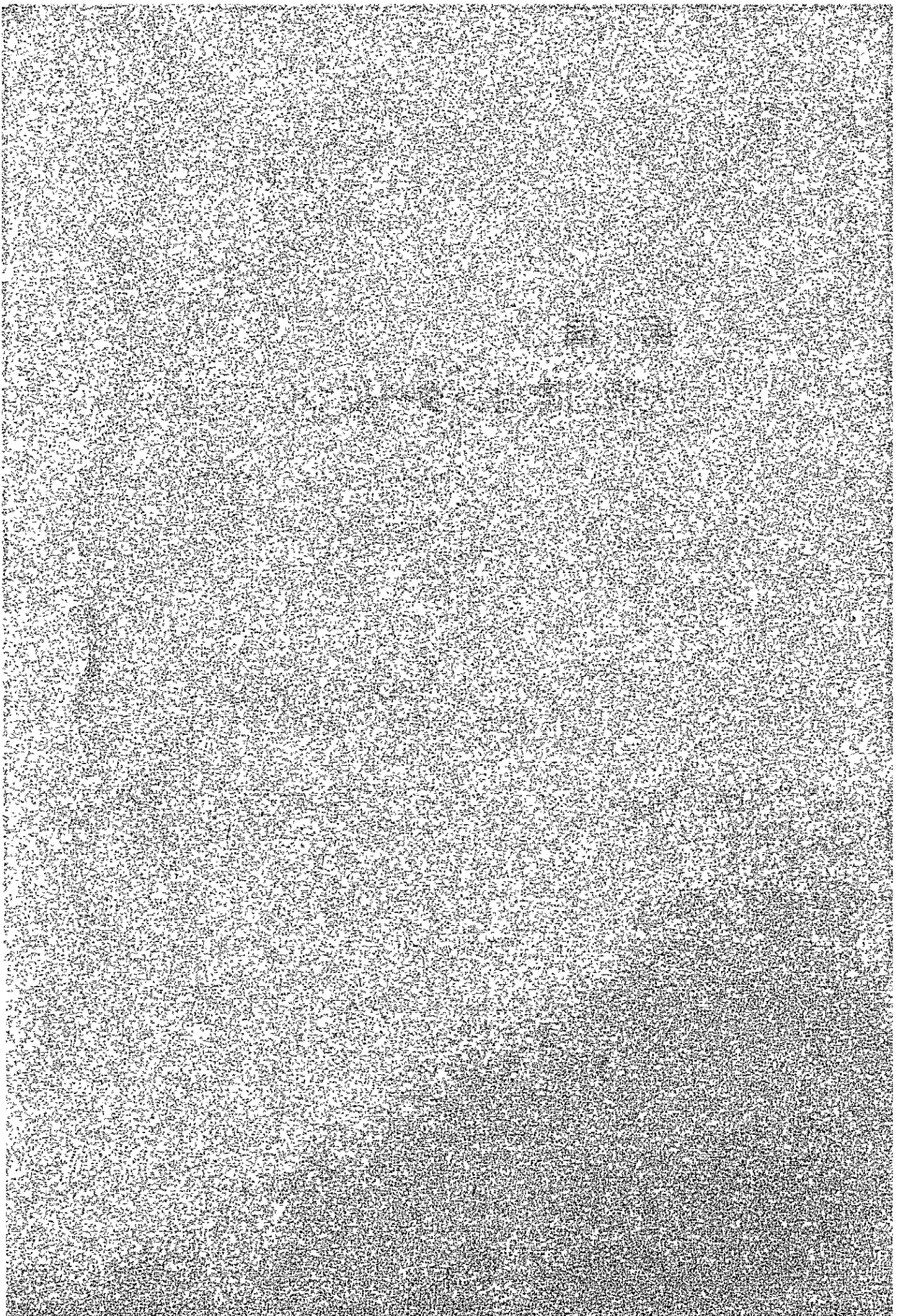
(2) 選考試験	33
2. 自治体等表敬	35
3. 留守家族懇談会及び帰国隊員報告会	37
4. 近畿ブロック事務担当者会議	39
5. 進路相談	40
6. 青年海外協力隊OB・OG会活動	41
第4章 その他のボランティア事業	42
1. シニア海外ボランティア事業	42
2. 日系社会シニアボランティア事業	42
3. 日系社会青年ボランティア事業	43
第5章 自治体等との連携事業	44
1. 自治体・国際交流団体との連携	44
(1) 国際協力推進員	44
(2) 地方自治体職員等国際協力実務研修	44
(3) 各自治体等職員研修への協力	46
(4) 国際協力主管課長会議	47
2. NGOとの連携	47
第6章 広報・啓発事業	49
1. 市民講座・国際交流・協力推進	49
(1) 国際協力キャンペーン	49
(2) 国際協力市民講座	50
2. 開発教育支援	52
(1) 開発教育支援実績	52
(2) 中学生エッセイコンテスト	57
(3) 高校生エッセイコンテスト	60
(4) 中学・高校教師海外研修	63
(5) インターンシップ	65
3. 国際協力情報の提供サービス	65
(1) 図書資料室	65
(2) JICAギャラリー	65
4. 地域交流	66
(1) 地域交流	66
(2) 国際夏祭り	72
第7章 その他の事業	73
1. 開発投融資関連事業	73
2. 国際緊急援助隊関連業務	73
3. 帰国専門家連絡会	74

第3編 資料・統計

第1章 研修員受入事業	75
1. 昭和42年度～平成10年度集団型コース研修員受入実績	75
2. 平成9年度集団型研修等一覧表	78
3. 平成10年度集団型研修等一覧表	85
4. 平成9年度日本語研修業務実施報告	92
5. 平成10年度日本語研修業務実施報告	99
第2章 青年海外協力隊事業	106
1. 青年海外協力隊員派遣実績	106
第3章 海外ボランティア事業	107
1. シニア海外ボランティア派遣実績	107
2. 日系社会シニア・ボランティア派遣実績	109
3. 日系社会青年ボランティア派遣実績	110
第4章 専門家派遣実績	112
1. 専門家派遣実績	112
2. 帰国専門家連絡会代表幹事リスト	114

第1編

大阪国際センターについて



1. 沿革

1967年（昭和42年）、国際協力事業団（JICA）の前身である海外技術協力事業団（OTCA）の関西地域における研修施設として、茨木市南春日丘に大阪国際研修センター（OITC62ベット）が設立されました。

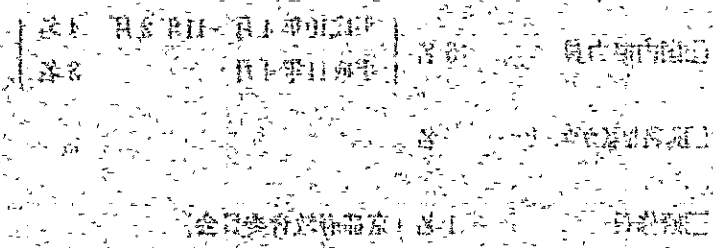
20数年を経て、施設が老朽化し、また受入研修員の人数が増加してきたため、1994年（平成6年）4月、茨木市西豊川町に、新たに290室（300ベット）を有する大阪国際センターが国際協力事業団の全国14ヶ所の国際センターの一つとして建設されました。

関西地域においては京都や奈良に代表される豊かな伝統文化、西日本の産業と経済の中心地大阪を拠点とする企業経営技術を背景に産業技術、学術研究、環境、保健医療、文化財保護、法制度などの技術研修分野において、開発途上国のニーズに対応した研修が行われています。

昭和42年以来約11,500人の研修員が当センターを拠点として関西地域の研修機関で研修し、発展途上国において国造りの中核となり活躍しています（平成10年度末現在）。

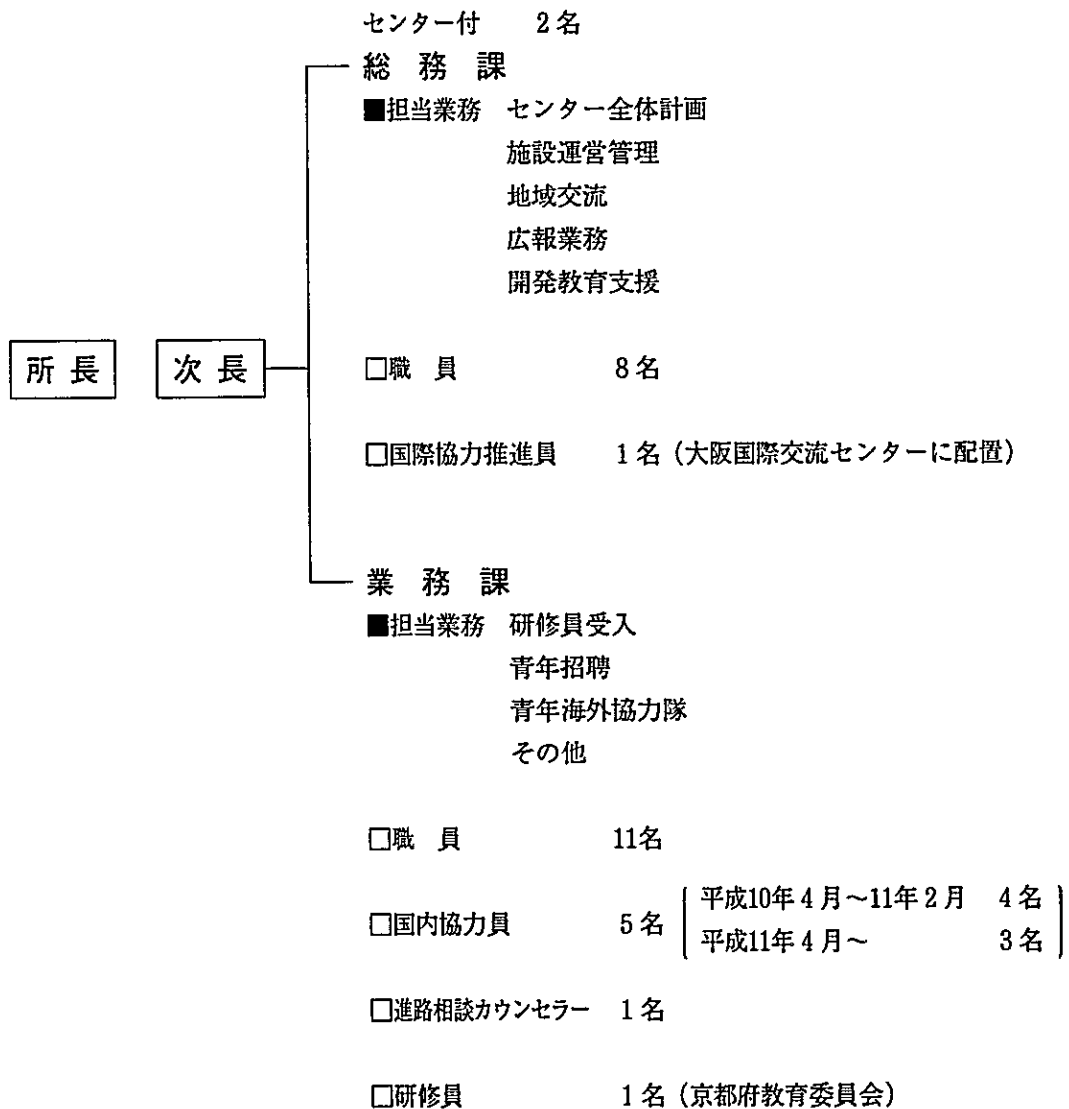
そして、現在もアジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東新たに東欧、中央アジアなどから、毎年約2,400人の研修員（含む青年招へい）を本センターで受け入れています。

1996年（平成8年）10月、大阪市北区堂島にあったJICA関西支部と統合し、青年海外協力隊の募集、地方自治体と連携した国際協力事業などの業務が加わりました。そして本センターは関西地域におけるJICAの総合窓口としての機能を担って、地域国際交流の拠点として新たな一歩を踏み出しました。



2. 組織

大阪国際センター組織図（平成11年3月）



- 備考 ●平成10年4月10日から研修課が業務課に組織改変
 ●研修員受入業務のため、(財)日本国際協力センター（JICE）の研修監理員、日本語講師などのスタッフが配置されている。
 ●施設管理、フロント業務、食堂運営については、東京ビジネスサービス株式会社（TBS）に委託

3. 施設の概要

(1) 所在地

〒567-0058 大阪府茨木市西豊川町25-1
TEL : 0726-41-6900 (代表)
FAX : 0726-41-6910 (事務所)
FAX : 0726-41-6915 (利用者・宿泊者宛)
Eメール : OSIC-I@jica.go.jp
ホームページ : <http://www.jica.go.jp/branch/osic/index.html>

(2) 建物規模

鉄筋コンクリート9階建(宿泊棟)
土地面積 : 11,739.09㎡
建築面積 : 5,069.75㎡
延床面積 : 16,610.72㎡

(3) 管理施設

所長室、事務室、図書資料室、広報展示コーナー、国際会議室、特別会議室、
会議室(2室)、応接室(2室)

(4) 研修施設

ブリーフィングルーム、オリエンテーションルーム、セミナールーム(18室)、
日本語LL教室、CAD技術研究室、コンピューター室(3室)、講師控室(2室)、
教材製作室、研修監理員室

(5) 宿泊施設(収容可能人数300名)

シングルルーム 280室(18㎡)
ツインルーム 10室(36㎡)
各室バス、トイレ、冷暖房、テレビ、電話完備

(6) 厚生施設

食堂(含む喫茶コーナー)、健康相談室、オーディオ・ビデオルーム、ビリヤードコーナー、
和室、売店、洗濯室

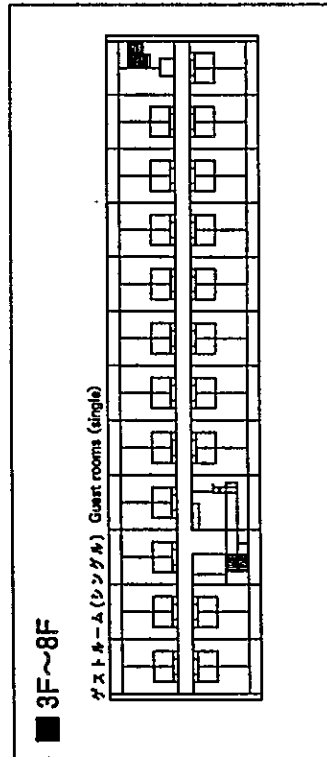
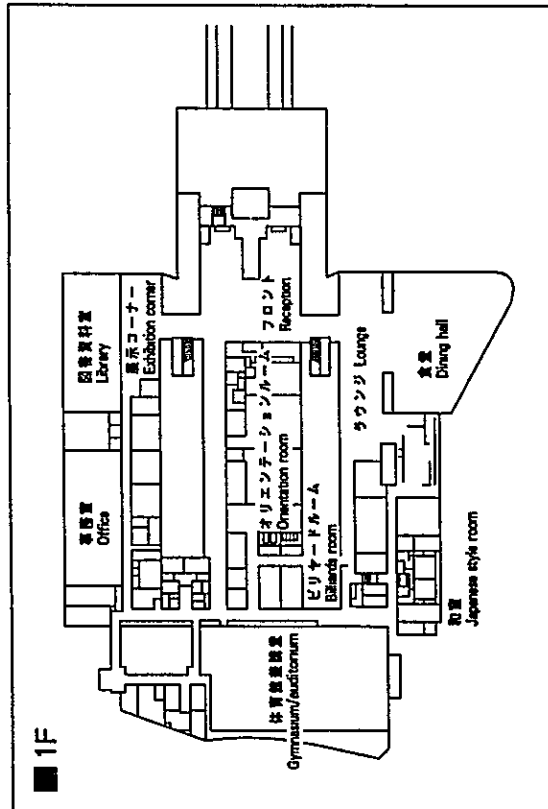
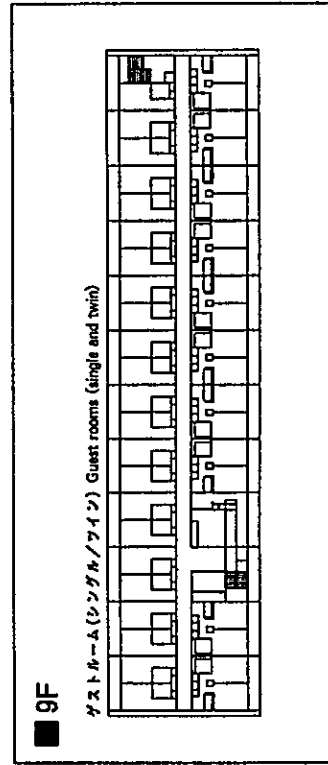
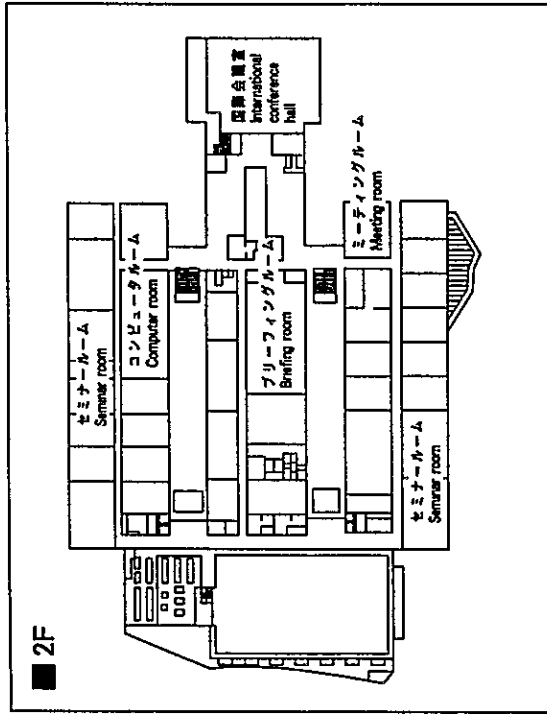
(7) 体育施設

体育館兼講堂(各種球技施設あり)、更衣室、シャワー室、
(屋外)テニスコートおよびミニサッカーコート

(8) サービスおよび共用施設他

フロント、玄関ロビー、ラウンジ、警備室、機械室、車庫、運転手控室

施設平面図



4. 施設利用実績

(1) 研修施設

〈平成9年度〉

〔平成9年度セミナールーム月別利用実績〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
可能利用回数	378	378	378	396	378	360	396	342	342	342	342	396	4,410
利用回数	162	257	161	157	226	302	286	199	73	205	249	204	2,481
9年度利用率(%)	42.9	68.0	42.6	39.6	59.8	83.9	72.2	61.4	21.3	59.9	72.8	51.5	56.3
8年度利用率(%)	39.4	61.9	43.6	62.1	54.8	82.7	71.7	81.7	33.0	56.4	68.7	45.3	58.4
7年度利用率(%)	54.2	56.7	41.2	67.5	60.9	80.3	75.9	72.8	33.3	50.0	61.9	45.8	58.4

(注) 実績には、日本語夜間講習も含む。日数は、土・日祝祭日を除く。

〔平成9年度コンピュータールーム月別利用実績〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
可能利用回数	21	21	21	22	21	20	22	18	19	19	19	22	245
コンピュータールーム (IBM)	17	17	20	22	20	20	20	18	14	19	19	18	224
9年度利用率(%)	81.0	81.0	95.2	100.0	95.2	100.0	90.9	100.0	73.7	100.0	100.0	81.8	91.6
8年度利用率(%)	95.2	100.0	95.0	100.0	100.0	100.0	81.8	95.0	89.5	100.0	100.0	80.0	94.6
コンピュータールーム (Mac)	8	13	7	5	5	11	9	2	8	15	13	14	110
9年度利用率(%)	38.1	61.9	33.3	22.7	23.8	55.0	40.9	11.1	42.1	78.9	68.4	63.6	44.9
8年度利用率(%)	85.7	85.7	100.0	65.2	77.3	68.4	40.9	45.0	15.8	73.7	63.2	60.0	65.3

〈平成10年度〉

〔平成10年度セミナールーム月別利用実績〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
10年度利用率(%)	42.9	68.0	42.6	39.6	59.8	83.9	72.2	61.4	21.3	59.9	72.8	51.5	56.3

(注) 実績には、日本語夜間講習も含む。日数は、土・日祝祭日を除く。

〔平成10年度コンピュータールーム月別利用実績〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
コンピュータールーム (IBM) 10年度利用率(%)	76.2	100.0	86.3	73.9	14.2	68.1	63.6	94.7	31.8	36.8	78.9	50.0	64.5
コンピュータールーム (Mac) 10年度利用率(%)	42.8	10.5	13.6	13.0	9.5	22.7	36.3	10.5	9.0	21.0	31.5	0	18.4

(2) 宿泊施設

〈平成9年度〉

〔平成9年度宿泊施設月別利用実績〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
可能利用者数	8,700	8,990	8,700	8,990	8,990	8,700	8,990	8,700	8,990	8,990	8,120	8,990	105,850
利用者数	2,791	5,060	5,060	5,018	4,497	7,641	8,783	6,926	3,504	5,231	5,873	4,811	65,195
9年度利用率(%)	32.1	56.3	58.2	55.8	50.0	87.8	97.7	79.6	39.0	58.2	72.3	53.5	61.6
8年度利用率(%)	39.7	57.3	61.4	67.2	49.8	89.1	99.5	92.7	43.8	50.1	67.2	48.7	63.9
7年度利用率(%)	46.8	59.3	63.1	62.2	49.8	80.9	94.0	80.3	38.0	47.5	64.9	58.7	62.1

〈平成10年度〉

〔平成10年度宿泊施設月別利用実績〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
可能利用者数	8,700	8,990	8,700	8,990	8,990	8,700	8,990	8,700	8,990	8,990	8,120	8,990	105,850
利用者数	3,130	6,255	5,988	7,731	6,723	8,059	8,322	7,494	3,972	4,929	5,985	5,486	74,074
10年度利用率(%)	35.98	69.58	68.83	86.00	74.78	92.63	92.57	86.14	44.18	54.83	73.71	61.02	69.98

(3) 国際会議室、体育館兼講堂

〈平成9年度〉

〔平成9年度国際会議室利用実績〕

利用日	内 容	参加人数
平成9年5月10日	第1回日韓青少年交流ネットワーク・フォーラム	125
平成9年5月23日	青年海外協力隊春募集説明会	100
平成9年7月15日～16日	大阪府市町村職員・市町村国際交流団体職員研修	30
平成9年7月30日	国際知的財産権シンポジウム	15
平成9年9月11日～12日	国際緊急援助隊海外救援専門家招聘セミナー	100
平成9年12月22日	日本国際雨水資源化学会研究発表会	80
平成10年2月12日～13日	ジェネラル・オリエンテーション	30
平成10年2月18日20日	オリエンテーション	63

〈平成10年度〉

〔平成10年度国際会議室利用実績〕

利 用 日	内 容	参加人数
平成10年5月29日	青招5陣 講義	50
平成10年6月1日	青招5陣 講義	50
平成10年7月3日	青招8陣 講義	50
平成10年7月6日	青招8陣 講義	50
平成10年7月26日	青招8陣 講義	50
平成10年7月10日	青招9陣 講義	66
平成10年7月27日	青招8陣 講義	170
平成10年7月17日	青招11陣 講義	174
平成10年7月20日	青招11陣 講義	170
平成10年7月21日	青招11陣 講義	18
平成10年7月30日	国際知的財産権	
平成10年8月7日	高校生国際協力実体験プログラム	37
平成10年11月12日～13日	青招17陣 講義	50
平成10年11月26日～28日	R C N P 国際シンポ	
平成10年11月30日	青招20陣 講義	56
平成10年12月1日	青招20陣 講義	56
平成10年12月3日～5日	NGO連携による村落開発フォーラム	70
平成11年1月14日	青招22陣 講義	47
平成11年2月16日	地方自治体行政	
平成11年2月24日	マレーシア経済	

〔平成10年度体育館兼講堂利用実績〕

利 用 日	内 容	参加人数
平成10年6月15日	青招4陣 歓送会	170
平成10年6月22日	青招5陣 歓送会	167
平成10年7月15日～16日	国際鑑識セミナー 実習	20
平成10年7月25日	J M T D R	
平成10年7月27日	青招8陣 歓送会	170
平成10年8月3日	青招9陣 歓送会	174
平成10年8月10日	青招11陣 歓送会	170
平成10年10月8日～9日	開発教育小学校訪問 フォークダンス練習	18
平成10年10月12日～14日	開発教育小学校訪問 フォークダンス練習	18
平成10年11月2日～6日	親善パーティー	
平成10年11月16日	青招17陣 歓送会	
平成10年12月2日	茨木市	
平成10年12月21日	青招20陣 歓送会	86
平成11年3月8日～11日	職員採用説明会	

第2編 事業実績

第2編-第1章 研修員受入事業

第1章 研修員受入事業

I. 技術研修員

1. 集団型研修

(1) 集団研修及び一般特設

〈平成9年度〉

平成9年度では集団及び一般特設合計で55コース、455名の受入を実施。

なお、継続、コース名変更等の内訳は以下のとおりである。

(各コースのプロフィール等は資料欄に掲載)

○継続コース *52コース

○平成9年度に大阪国際センターに移管されたコース

*総合医用画像・放射線治療技術(名古屋国際研修センターから移管)

○平成9年度からコース名が変更されたコース

*アジア企業経営(アジア経営セミナーからコース名変更)

〈平成10年度〉

平成10年度では集団及び一般特設の合計で57コース、490名の受入を実施。なお、新設、改廃等の詳細は以下のとおりである。

○継続コース 52コース

○平成10年度に新設

○平成9年度をもって終了

1. 「家禽疾病の診断技術」

1. 「食用動物疾病の診断技術」

2. 「島嶼間郵便業務管理」

2. 「急送郵便業務」

3. 「NGO連携による村落開発」

○平成10年度に大阪国際センターから移管

(第5章(2)に詳細説明)

なし

4. 「汚職防止刑事司法支援」

○平成10年度からコース名変更

○平成10年度に大阪国際センターに移管

新: 「地方自治体行政」

「救急救助技術」←東京国際研修センターより移管

旧: 「地方自治体行政実務」

(2) 国別・地域別特設

〈平成9年度〉

平成9年度には14コース、130名の受入を実施。

国別・地域別アプローチの強化を反映して「ケニア輸出振興」、「グアテマラ地方教育行政」、「中央アジア・コーカサス市場経済理解のためのマーケティングセミナー」の3コースが新設された。

(各コースのプロフィール等は資料欄に掲載)

〈平成10年度〉

平成10年度は11コース、103人の受入を実施。

新規に「中国工商管理」を開設した。

(3) 東欧特設

東欧諸国特有のニーズに対応するため、市場経済化支援の一環として平成元年度に開始された。

〈平成9年度〉

平成9年度は「経営管理」、「生産管理」及び「中小企業振興」分野5コース、44名を受入れた。

〈平成10年度〉

平成10年度も9年度と同じく5コース、51名を受入れた。

(4) コスト・シェアリング

国別・地域別特設の一形態で、渡航費等研修経費の一部を負担する場合があります、便宜上「C. S. (コスト・シェアリング)」と呼んでいる。経費負担の範囲は様々である。

〈平成9年度〉

平成9年度はタイの「水道供給中堅管理者」、「水道施設運転維持管理」と中国の「企業経営指導者」の3コースで32名を受入れたが、アジアの経済危機の影響もあり、前年度より1件減少した。

〈平成10年度〉

平成10年度は3コースで36名を受入れた。平成9年度まで実施していたタイのC/S2コースを「総合洪水対策」、「下水道施設運転維持管理」の2コースに変更して実施し、計21名を受入れた。また、中国の「企業経営指導者」コースでは15名を受入れた。

(5) 特別案件

協定等の締結により、特定の国から計画的に多人数の研修員を受入れて実施される研修である。

〈平成9年度〉

平成9年度は「日墨交流計画」による27名を受入れた。

〈平成10年度〉

平成10年度は、マレーシア東方政策による「経営幹部セミナー」で42名、「日墨交流計画」により29名を受入れた。

2. 個別型研修

類 型	平成9年度実績	平成10年度実績
(1) 個別一般研修	20名	15名
(2) カウンターパート研修	52名	54名
(3) 民間技能者カウンターパート研修	15名	10名
(4) 国際機関	1名	0名
合 計	88名	79名

- 註 ●民間技能者カウンターパート研修：民活専門家のカウンターパートを対象とした本邦受入れ研修であり、研修経費はJICAと財海外職業訓練協会(OVTA)が分担
●国際機関：国際機関からの要請に基づき実施する本邦受入れ研修であり、平成9年度は国際原子力機関(IAEA)からの要請により、同機関の経費負担により実施

3. 来日時オリエンテーション

来日時オリエンテーション（ブリーフィング及びジェネラルオリエンテーション）は、海外から受入れる研修員に対し、技術研修プログラムの開始前に研修及び日常生活に必要な情報と日本事情等について正しい基礎知識を紹介し、以て研修活動並びに滞日生活の円滑化を図るとともに、わが国に対する理解を促進させることを目的に実施している。本センター所管の研修員及び、兵庫国際ナショナルセンター、中国国際センター、北陸支部、四国支部所管の研修員並びに本センターで日本語研修を受講する他センター・支部所管の研修員が対象となる。

(1) ブリーフィング

上記国内機関所管の研修員の他、平成9年度から新たに名古屋国際研修センター所管の研修員も対象としてブリーフィングを実施。一般には研修員の来阪（来日）指定日を月曜日、ブリーフィングは翌火曜日と設定している（実績及び内容は次表参照）。

〔ブリーフィング内容〕 ※平成9年度および平成10年度とも、変わりありません。

午 前	スケジュール説明
	所長歓迎挨拶
	登録用紙（フォームオブレジスター）記入
	JICA事業の紹介…ビデオ「GUIDE TO JICA」
	大阪国際センターの紹介…ビデオ「Osaka Int'I Centre」
	館内案内
午 後	日本での生活について…ビデオ「Starting Your Life in Japan」
	配付資料の説明および生活情報の説明
	メディカルカードの配付および説明
	研修員手当支給内容の説明およびミールカードの説明
	バンクカードの配付および説明
	茨木市および銀行の案内…ビデオ「IBARAKI CITY and BANK TOUR」
	質疑応答およびオリエンテーション案内

〔ブリーフィング研修員受講実績〕

〈平成9年度〉

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
実施回数	6	9	5	7	7	13	13	6	2	15	14	15	112回
参加人数	36	82	32	48	160	198	92	20	13	260	118	126	1,185人

〈平成10年度〉

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
実施回数	10	7	8	11	10	18	12	13	2	16	13	11	131回
参加人数	51	123	86	67	167	269	87	69	2	292	214	97	1,524人

(2) ジェネラルオリエンテーション

ジェネラルオリエンテーションは従来水曜日から金曜日までの3日間であったが平成9年11月から研修員の健康診断を設けたため、水曜日から土曜日までの4日間となった（実績およびプログラムは次表参照）。

〔平成9・10年度ジェネラルオリエンテーション実績〕

年度	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成9年度	実施回数(回)	4	3	3	4	5	4	3	1	1	4	3	3	38
	受講人数(人)	30	70	31	17	155	133	44	13	6	168	74	115	856
平成10年度	実施回数(回)	4	4	4	4	4	4	5	2	0	4	4	5	44
	受講人数(人)	30	64	61	38	133	155	53	34	0	148	107	71	894

〔ジェネラルオリエンテーション内容（プログラム・講師）～平成9年10月〕

曜日	時間	科目	講師
第1日 (木)	10:00～12:00	日本の社会と日本人	山岸みどり（大阪国際大学教授） 橋本登代子（関西外国語大学講師） 松井 範惇（京都産業大学教授） 中村 耕二（甲南大学助教授） 藤田 淳一（大阪歯科大学講師）
	13:30～15:00	日本語の特質から見た 日本人と日本の社会	小林 明美（大阪国際大学教授） 山本 進（大阪外国語大学助教授） 中田 一志（大阪外国語大学講師） 岸田 泰浩（大阪外国語大学助手）
	15:15～17:15	日本の歴史・文化	安田 正枝（大阪外国語大学講師） 和布浦洲英（大阪外国語大学講師） 加藤 均（大阪外国語大学講師）
第2日 (木)	09:00～19:00	大阪・京都バスツアー 〔行程〕大阪国際センター→松下技術館→大阪城→大阪ビジネスパーク →平安神宮→清水寺→大阪国際センター	
第3日 (金)	09:45～11:45	日本の教育	山村 慧（聖和大学教授） 玉井 健（神戸松蔭女子短大助教授） 杉本 均（京都大学助手） WILLIS DAVID（相愛大学教授） 中村 耕二（甲南大学助教授）
	13:15～15:15	日本の経済	小田野純丸（大阪国際大学教授） JAMES GOODE（大阪国際大学助教授） 谷川 寛（大阪国際大学講師）
	15:30～17:00	日本の政治・行政	巢山 靖司（大阪外国語大学教授） 岡田 新（大阪外国語大学助教授）

〔ジェネラルオリエンテーション内容（プログラム・講師）平成9年11月～〕

曜日	時間	科目	講師
第1日 (水)	10:00～12:00	日本の社会と日本人	前表と同様
	13:30～15:00	日本語の特質から見た日本人と日本の社会	前表と同様
	15:15～17:15	日本の歴史・文化	前表と同様
第2日 (木)	10:00～12:00	日本文化紹介ビデオ	
第3日 (金)	09:45～11:45	日本の教育	前表と同様
	13:15～15:15	日本の経済	前表と同様
	15:30～17:00	日本の政治・行政機構	前表と同様
第4日 (土)	09:00～19:00	関西バスツアー 〔行程〕大阪国際センター→パナソニックスクエア→大阪ビジネスパーク→平安神宮→清水寺→大阪国際センター	

4. 日本語研修

当センターには、他センターの研修コースをも対象とした「窓口」機能を持つプログラムの一つとして全国のJICAセンター中最大規模の日本語研修がある。基本的に研修員来日直後のプリーフィング・オリエンテーションプログラムの後、研修の一環として必修の「集中」講習を実施している。

さらに集中講習終了後も希望者に対して夜間の「一般」講習の機会がある。これによって当センターを利用する研修員全員に日本語を学習する機会があるわけで、現在約30名の指導員がこれに当たっている。

受講実績及び集中講習の時間設定基準は次表のとおり。

〔平成9・10年度日本語研修受講実績〕

所管センター・支部	平成9年度		平成10年度	
	集中講習	一般講習	集中講習	一般講習
大阪国際センター所管研修員	394	437	410	530
他センター・支部所管研修員	126	3	178	5
合計	520人	440人	588人	535人

〔研修期間別による基本講習必要時間〕

研修期間 (本邦滞在期間)	集中講習	受講後の研修員の発話能力	到達目標	レベル
3 ヵ月 未満	25時間	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な挨拶：おはようございます・こんにちは・こんばんは・ありがとうございます・はじめまして・どうぞよろしく ・自己紹介：名前、国、研修コースが言える ・簡単な依頼：「お願いします」を使って、レストランで注文ができる ・数：0～1,000 	自分の名前と国籍についての簡単な自己紹介や、おはようございます・こんにちは等の挨拶ができる。数が1,000まで言えて、聞ける。	1
3 ～ 6 ヵ月	50時間	<ul style="list-style-type: none"> ・駅で切符が買え、ホームが聞ける ・値段が聞ける ・時刻が聞ける ・数：0～10,000 	日常生活で最低限必要な表現ができる。数が10,000まで言えて、聞ける。	1
9 ヵ月	75時間	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な動詞を使い、一日の生活が言える ・物の場所、所在を尋ねることができるが、複雑な答えは聞き取れない ・数：0～100,000 	日常生活の基本的な場面での簡単なやりとりができる。	2
9 ヵ月 以上	100時間	<ul style="list-style-type: none"> ・「～が痛いです」と、ごく簡単な症状が言える ・「乗ります」「降ります」を使って、簡単な交通手段が聞ける ・簡単な「～てください」の指示がわかる ・限られた形容詞を使って、感想、印象が言える ・数：0～1,000,000 	基礎的な文型・文法を基とし、日常生活の基本的な場面での簡単なやりとりができる。簡単な指示が理解できる。 *表記については、100時間までローマ字を使用。	2

〔研修指導方法による集中講習調整時間〕

研修指導方法	調整時間数	調整理由
実習タイプ	±25時間	危険回避用語の習得
講義タイプ	±0時間	研修監理員による通訳があるため不要
研究タイプⅠ (英語による個別指導)	±0時間	英語を使用する指導のため不要
研究タイプⅡ (日本語による個別指導)	±25時間	研修効果の向上のため

(集団型研修コースにおける日本語講習設置時間数のガイドラインであるが、実際には各コースにより研修機関との調整により必要時間数を決定している。)

5. フォローアップ調査

〈平成9年度〉

「農業生産のための遺伝子操作技術」

派遣国	アルゼンティン、チリ
派遣期間	平成9年7月9日～7月26日
団員構成	団長/総括 中野 長久 大阪府立大学農学部教授 技術指導 高橋 正昭 大阪府立大学農学部教授 業務調整 大場美紀子 国際協力事業団大阪国際センター研修課
セミナーテーマ	「日本の科学研究の現状と国家予算との関係」 「農業における遺伝子操作…代謝系の改変と環境ストレス適応への挑戦」

「医療放射線技術指導者」

派遣国	ガーナ、ザンビア
派遣期間	平成9年7月28日～8月16日
団員構成	団長/総括 稲本 一夫 大阪大学医学部保健学科教授 技術指導 芦田 信之 大阪大学医学部保健学科講師 業務調整 棚田 雄一 国際協力事業団大阪国際センター研修課
セミナーテーマ	“Hospital Office Automation” “Computed Tomography of the Emergency Cases”

「都市排水コース」、「都市廃棄物対策コース」

派遣国	中国、マレーシア
派遣期間	平成9年7月29日～8月9日
団員構成	団長／総括 桜井 国俊 国際環境計画研究所 技術指導 高木 亨 大阪市環境事業局庶務課普及係長 〃 山本 智 大阪市下水道局建設部計画課主査 業務調整 末田 和也 国際協力事業団大阪国際センター研修課
セミナーテーマ	「日本における汚染防止と清潔生産の戦略と対策」 「大阪市の都市廃棄物処理行政」 「都市排水の概要と大阪市の実施例」

「太陽光発電及び利用の技術システムコース」

派遣国	バブア・ニューギニア、サモア
派遣期間	平成9年8月3日～8月19日
団員構成	団長／総括 内藤 紀雄 国際協力事業団大阪国際センター研修課長代理 技術指導 森 雄造 大阪市立大学工学部応用物理学課教授 〃 平野 俊雅 三洋電機㈱ 研究開発本部ニューマテリアル研究所主任研究員
セミナーテーマ	“Solar Power Generation and its Aprication System”

「上級微生物病研究コース」

派遣国	トルコ、ジョルダン
派遣期間	平成10年1月11日～1月25日
団員構成	団長／総括 上田 重晴 大阪大学微生物病研究所神経ウイルス分野教授 技術指導 山本耕一郎 大阪大学微生物病研究所細菌感染分野助教授 業務調整 山内 美樹 国際協力事業団大阪国際センター研修課
セミナーテーマ	「麻疹ウイルスの突然変異と麻疹予防への影響」 「ビブリオの病原性因子と大腸菌性下痢症について」

「都市緑化行政コース」

派遣国	モロッコ、エチオピア
派遣期間	平成10年1月11日～1月23日
団員構成	団長／総括 高橋 満之 国際協力事業団大阪国際センター研修課長代理 技術指導 森下 元之 大阪市建設局花と緑の推進本部緑公園緑地計画担当部長 〃 上田 正敏 大阪市建設局花と緑の推進本部緑化課推進係長 業務調整 実川 幸司 国際協力事業団大阪国際センター研修課

〈平成10年度〉

「NGO連携による村落開発（特別案件調査）」

派遣国	フィリピン、ネパール		
派遣期間	平成10年6月21日(日)～7月7日(火)		
団員構成	団長(総括)	小野 英男	国際協力事業団大阪国際センター所長
	企画(副団長)	平田 哲	関西NGO協議会議長、コース運営委員長
	カリキュラム兼定	中田 豊一	立命館大学国際関係学部非常勤講師、コースリーダー (元Save The Children Japan事務局長)
	技術指導	藤野 達也	財団法人PHD協会総主事代行、コース運営委員
	研修計画	長縄 真吾	国際協力事業団大阪国際センター業務課

「建設施工Ⅱ」

派遣国	ケニア、エジプト		
派遣期間	平成10年7月11日(土)～7月25日(土)		
団員構成	総括/技術指導	村上 輝久	建設省九州地方建設局道路部機械課長
	技術指導	星野 日吉	社団法人日本建設機械化
	業務調整	山内 美樹	国際協力事業団大阪国際センター業務課

「地方自治体行政」

派遣国	ブータン、パキスタン		
派遣期間	平成10年12月5日(土)～12月17日(木)		
団員構成	総括	鈴木 正彦	国際協力事業団国際協力専門員
	研修企画	梶 秀樹	茨木市市長公室自治振興課課長補佐
	技術指導	椎原 純	茨木市市長公室自治振興課主査
	研修計画	実川 幸司	国際協力事業団大阪国際センター業務課

「酵素工学」

派遣国	ブラジル、コロンビア		
派遣期間	平成10年9月16日(水)～10月3日(土)		
団員構成	総括	中野 博文	大阪市立工業研究所生物化学課研究主任
	技術指導	小林 修	大阪市立工業研究所生物化学課研究主任
	研修計画	内藤 紀雄	国際協力事業団大阪国際センター業務課長代理
	研修効果測定	鈴木 勉	国際協力事業団大阪国際センター業務課

「家禽疾病の診断技術」

派遣国	ネパール、スリ・ランカ
派遣期間	平成10年11月8日(日)～11月20日(金)
団員構成	団長／総括 荒川 皓 大阪府立大学名誉教授 技術指導 植村 興 大阪府立大学農学部教授（獣医公衆衛生学） 研修計画 高橋 満之 国際協力事業団大阪国際センター業務課長代理 業務調整 高宮 健司 国際協力事業団大阪国際センター業務課

「配電システム管理」

派遣国	バングラデシュ、ネパール
派遣期間	平成10年12月6日(日)～12月19日(土)
団員構成	総括／研修計画 尾崎 豊蔵 社団法人海外電力調査会電力国際協力センター 協力部副長 技術指導／技術評価 岸尾 伸一 関西電力株式会社お客様本部ネットワーク技術 グループ副長 計画管理／協力計画 喜多 要 国際協力事業団大阪国際センター業務課

「文化財修復整備技術」

派遣国	スリ・ランカ、パキスタン
派遣期間	平成11年1月18日(月)～1月31日(日)
団員構成	団長／総括 西川 孝治 滋賀県立大学人間文化学部学部長 技術指導 濱崎 一志 滋賀県立大学人間文化学部助教授 〃 官原 健吾 財団法人京都市埋蔵文化財研究所調査部資料課 業務調整 長縄 真吾 国際協力事業団大阪国際センター業務課
セミナーテーマ	「考古学とコンピュータ」

6. 英会話講習

研修の充実、円滑化と研修効果・効率を図るため、集団、一般特設コースの研修実施機関の研修関係者を対象として、英会話の講習会を実施

〔平成9年度英会話講習実施実績〕

実施先機関	関係研修コース	受講者数	授業内容	研修場所	回数
大阪市 環境保健局 中央卸売市場 下水道局 建設局 環境事業局 水道局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理セミナー ・大気汚染対策 ・青果物流通 ・都市排水 ・都市緑化行政 ・都市廃棄物対策 ・都市上下水道維持管理 	20名/ 2クラス	1回2時間 週2回/ 32時間	大阪駅前第2ビル 水道局	16
近畿地方建設局	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備計画 ・社会資本環境影響評価 ・建設施工管理者 ・緊急災害復旧システム 	21名/ 2クラス	1回2時間 週2回/ 32時間	道路保全技術センター	16
大阪市立工業研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・酵素工学 ・高分子材料工学 ・有機ファインケミカルズ工学 ・エレクトロニクス工業のための無機材料 	10名/ 1クラス	1回2時間 週2回/ 32時間	大阪市立工業研究所	16
大阪大学	<ul style="list-style-type: none"> ・医療放射線技術指導者 ・口腔顎顔面放射線診療 	14名/ 1クラス	1回2時間 週2回/ 32時間	大阪大学歯学部記念会館	16
大阪府立大学	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産のための遺伝子操作技術 ・施設園芸 ・家禽疾病の診断技術 	19名/ 1クラス	1回2時間 週2回/ 32時間	大阪府立大学農学部	16
公正取引委員会	・独占禁止法	合同9名/ 1クラス	1回2時間 週2回/ 32時間	公正取引委員会	16
大阪入国管理局	・出入国管理行政				
日本建築総合試験場	・コンクリート構造物耐久性向上	10名/ 1クラス	1回2時間 週2回/ 32時間	日本建築総合試験場	16
大阪府立東淀川高等職業技術専門校	<ul style="list-style-type: none"> ・メカトロニクス訓練 ・自動車整備技術Ⅱ 	19名/ 1クラス	1回2時間 週2回/ 32時間	大阪府立東淀川高等職業技術専門校	16
大阪市立大学	・太陽光発電及び利用の技術システム	10名/ 17クラス	1回2時間 週2回/ 32時間	大阪市立大学	16
大阪工業技術研究所	・先進材料	10名/ 17クラス	1回2時間 週2回/ 32時間	大阪工業技術研究所	16

〔平成10年度英会話講習実施実績〕

実施先機関	関係研修コース	受講者数	授業内容	研修場所	回数
大阪市	<ul style="list-style-type: none"> ・青果物流通 ・都市排水 ・都市緑化行政 ・都市上水道 ・救急救助 ・大気汚染対策 ・都市廃棄物対策 ・環境管理セミナー 	22名	1回2時間 週2回/ 36時間	大阪駅前第2ビル、 大阪市水道局	18
近畿地方建設局	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備計画 ・社会資本環境影響評価 ・建設施工管理者 ・建設施工Ⅱ ・緊急災害復旧システム ・(有害金属汚染対策) 	18名	1回2時間 週2回/ 36時間	道路保全技術センター	18
大阪市立工業研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・醸業工学 ・高分子材料工学 ・有機ファインケミカルズ ・エレクトロニクス無機材料 	8名	1回2時間 週2回/ 36時間	大阪市立工業研究所	18
大阪大学	<ul style="list-style-type: none"> ・医療放射線診療技術指導者 ・口腔顎顔面放射線診療 	24名	1回2時間 週1回/ 18時間	大阪大学医学部、 歯学部記念会館	9
大阪市立大学	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電及び利用の技術システム 	13名	1回2時間 週2回/ 36時間	大阪市立大学工学部	18
大阪工業技術研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・先進材料 	8名	1回2時間 週2回/ 36時間	大阪工業技術研究所	18
大阪府立大学	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産のための遺伝子操作技術 ・施設園芸技術 ・食用動物疾病の診断技術 	10名	1回2時間 週2回/ 36時間	大阪府立大学農学部	18
公正取引委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・出入国管理行政 	10名	1回2時間 週2回/ 36時間	公正取引委員会	18
大阪入国管理局					
日本建築総合試験所	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート構造物耐久性向上技術 	10名	1回2時間 週2回/ 36時間	日本建築総合試験所	18
大阪府立大学東淀川 高等職業技術専門校	<ul style="list-style-type: none"> ・メカトロニクス ・自動車整備技術Ⅱ 	13名	1回2時間 週2回/ 36時間	大阪府立大学東淀川 高等職業技術専門校	18

7. 研修員福利厚生

気候、言語、習慣等の異なる環境で、研修員が心身とも良好な健康状態を維持し、快適な日常生活を過ごすことで、本来の研修目的が達成できるよう、当センターでは各種レクリエーションサービス等を用意している（市民との交流については、第7章4の「地域交流」を参照）。

また、研修員の健康管理のために健康相談室（クリニック）を設け、嘱託医師や看護婦による医療相談、診断を行っている。

(1) レクリエーション

〔定例福利厚生活動〕

No	活動名	日 時	場 所	備 考
1	茶 道 教 室	毎月第1・3木曜日 (19:30~21:30)	OSIC和室	
2	生 け 花 教 室	毎月第1・3月曜日 (19:00~20:30)	OSIC和室	
3	エアロビクス教室	毎週金曜日 (18:30~19:00)	OSIC講堂	平成9年3月まで

〔その他の福利厚生プログラム〕

No	名 称	サ ー ビ ス 内 容
1	Weekend OSIC	週末レクリエーション情報を毎週金曜日夕方に発行
2	フィットネスクラブVITA法人会員券配布	随時手交
3	ビデオ貸出	多数保有
4	レーザーディスク貸出	多数保有
5	映画ビデオ上映	毎晩20:00より館内有線テレビで映画ビデオを上映
6	自転車貸出	30台
7	ビデオルーム（1階）	施設貸出
8	ビリヤードコーナー（1階）	施設貸出
9	講堂兼体育館	各種インドアスポーツに対応
10	テニスコート	ラケットとボールも貸出
11	ミニサッカーコート	平成10年3月改装終了

当センターでは、週末等に行うレクリエーション行事を、研修員の心身ともに良好な健康状態の維持という目的の他に、研修員と地域の人々との交流の促進という目的で行っている。

(2) 健康管理業務

- ・大阪国際センターの健康相談室（クリニック）は、1名の嘱託医師と2名の看護婦（メディカルコーディネーター）の体制のもとに運営されている。
- ・運営体制および運営時間は次のとおり。

〔メディカルコーディネーター（看護婦）および看護婦〕

曜 日	時 間	備 考
月 ～ 金	9:40～17:20	財国際看護交流協会より派遣されているメディカルコーディネーター（看護婦）が勤務。
火・木・金	17:15～21:15	財国際看護交流協会より派遣されている看護婦が勤務。医師の診療の介助に当たっている。
土	8:50～12:50	財国際看護交流協会より派遣されている看護婦が勤務。主に平日にセンター内の健康相談室で相談を行った研修員のための病院同行を行っている。

メディカルコーディネーター（看護婦）の業務内容

- (1) 研修員の疾病・傷病に対する適切な助言および医療機関との連絡ならびに入通院している研修員の観察
- (2) 必要に応じ、研修員に対する病院同行およびその報告
- (3) 研修員に対する生活オリエンテーションの担当およびメディカルカードの確認
- (4) 研修員疾病事故等報告書（随時）、健康管理業務報告（診療日報）の作成
- (5) 3ヵ月以上本邦に滞在する研修員を対象にした健康診断実施（実施は嘱託医師の勤務病院）

〔医 師〕

曜 日	時 間	備 考
火・木・金	18:00～20:00	週2回は嘱託医師が担当している。1回は嘱託医師の所属病院より数名の医師が順番制によって交替で担当している。
毎月 第2火曜日	18:00～20:00	研修員が、本邦における様々な内的外的ストレスによって、研修に支障を来すケースがこの数年増加している。 このため、平成8年10月より臨床心理を行うことのできる精神科医と嘱託契約を結び、左記の時間での当センターの健康相談室における勤務および、研修員の心身疾患などが起こった場合に緊急に対応してもらうこととした。

II. 日系研修員

平成9年度より従来の「移住研修員」を「日系研修員」と名称変更し、研修内容も大学、研修機関及び企業と多岐にわたり実施。

〔平成9年度日系研修員（若手研修者・上級一般技術）受入実績〕

	氏名	年齢	性別	出身国	受入期間	研修科目	研修機関・所在地
若手 研究者	Alfredo Seiti Urashima	40	男	ブラジル	9年4月 / 10年3月	植物病理に おけるDNA	神戸大学 農学部 教授 真山滋志 〒657 神戸市灘区六甲台2-1 TEL078-803-0662
	Saete Kiyoka Ozaki	35	女	ブラジル	9年7月 / 10年6月	木材の耐用 年数の向上 技術	京都大学 木質科学研究所 教授 今村祐嗣 〒661 京都府宇治市五ヶ庄 TEL0774-38-3666/FAX0774-38-3678
上 級 一 般 技 術 研 修 員	吉田 カロリーナアンドレア	24	女	アルゼンチン	9年4月 / 10年3月	歯科矯正	大阪大学 歯学部歯科矯正学講座 教授 高田健治 〒565 吹田市山田丘1-81 TEL06-879-5111/FAX06-876-3632
	稲福 ウイリアン	29	男	ペルー	9年7月 / 10年6月	経営学	神戸大学 経営学部 教授 加護野忠男 〒657 神戸市灘区六甲台2-1 TEL078-803-0365
	関根 リサ	24	女	メキシコ	9年4月 / 9年9月	ホテル経営	ホテル日航関西空港 総務課長 中田守紀 〒549 大阪府泉佐野市泉州空港北1 TEL0724-55-9801
					9年10月 / 10年3月	ホテル経営	インターナショナル堂島ホテル 副部長 田村慎造 〒530 大阪市北区堂島浜2-1-31 TEL06-348-0111
浅野 茂	23	男	ポリヴィア	9年4月 / 9年10月	貿易全般	(株)トーマン 繊維物流システム 益田恵司 〒541 大阪市中央区瓦町1-6-7 TEL06-208-3808/FAX06-208-3850	
				9年11月 / 10年3月	貿易全般	石光商事(株) 総務部 部長代理 名越英昭 〒657 神戸市灘区岩屋南町4-34 TEL078-861-7791/FAX078-882-1007 研修場所06-474-1390	
高畑 徹也	26	男	メキシコ	9年5月 / 10年3月	工業デザイン	京都工芸繊維大学 助教授 佐藤啓一 〒606 京都市左京区松ヶ崎御所海道町 TEL075-724-7647/FAX075-724-7629	
山合 未花 レイラ	27	女	ブラジル	9年4月 / 10年3月	建築	(株)竹中工務店 大阪本店 人事部 能力開発担当 橋 明宏 〒541 大阪市中央区本町4-1-13 TEL06-252-1201/FAX078-331-0730 研修場所 078-331-0566	

〔平成9年度日系研修員（移住者子弟一般技術）受入実績〕

氏名	年齢	性別	出身国	受入期間	研修科目	研修機関・所在地
岡本 孝行 ルイス	27	男	ブラジル	8年4月～ 9年3月	経営学	神戸大学 経営学部 教授 石井淳蔵 〒657 神戸市灘区六甲台2-1 TEL078-803-0367
				9年4月～ 9年9月		三洋電機貿易(株) 人事総務部 部長 林 〒570 守口市日吉町2-5-15 TEL06-992-1521
				9年10月～ 10年3月		神戸大学復帰
金沢 信子 ルシア	26	女	パラグアイ	8年4月～ 9年3月	経営学	神戸大学 経営学部 教授 谷 武幸 〒657 神戸市灘区六甲台2-1 TEL078-803-0343
				9年4月～ 9年9月		東京三菱銀行グローバルサービスバンキング部 課長 後藤保美 〒541 大阪市中央区北浜4-2-3 TEL06-202-1735
				9年10月～ 10年3月		神戸大学復帰
木場 千恵美 ネルザ	26	女	ブラジル	8年4月～ 9年3月	経営学	神戸大学 経営学部 教授 加護野忠男 〒657 神戸市灘区六甲台2-1 TEL078-803-0365
				9年4月～ 9年9月		松下電器(株) テレビ事業部 部長 北出好宏 〒567 茨木市松下町1-1 TEL0726-24-7704
				9年10月～ 10年3月		神戸大学復帰
宮崎 カルロス 征人	26	男	ブラジル	8年4月～ 9年3月	経営学	神戸大学 経営学部 教授 加護野忠男 〒657 神戸市灘区六甲台2-1 TEL078-803-0365
				9年4月～ 9年9月		石光商事株式会社 総務部 部長代理 名越英昭 〒657 神戸市灘区岩屋南町4-34 TEL078-861-7791
				9年10月～ 10年3月		神戸大学復帰

〔平成9年度日系研修員（短期）受入実績〕

氏名	年齢	性別	出身国	受入期間	研修先・研修内容
山田 エクトル	41	男	ウルグアイ	10月13日～ 11月5日	関西電力等で電力会社インフォメーション・システムの本邦電力会社との交流研修
Alice Katsuko Ogido	51	女	ブラジル	9月11日～ 10月1日	大阪市大生活科学部食品栄養学科にて微量栄養素及び食物繊維に関する研究
比嘉 サンティアゴ	52	男	アルゼンチン	9月16日～ 11月26日	京都大学医学部歯学科にて顎関節治療についての研修
玉田 菊夫	60	男	ブラジル	9月16日～ 10月27日	大阪市大工学部にて土木（水利工学、地滑り）の研修
中村 沢木 えり	33	女	ブラジル 日本	9月16日～ 11月26日	兵庫県立総合リハビリセンターにて作業療法（OT技術）の研修

〔平成10年度日系研修員受入実績〕

氏名	年齢	性別	出身国	OSIC受入期間 技術研修期間	研修内容	研修先
長期・一般技術研修員						
渡久地 すみえ マルシア Marcia Sumie Toguchi	26	女	ブラジル	98/4/10～ 99/3/26	歯科資材開発	大阪大学 歯学部 歯科理工学講座 教授 高橋純造 〒565-0871 吹田市山田丘1-8 TEL/FAX 06-6879-2916
				98/4/13～ 99/3/19		
塚野 草野 テレザ Teresa Kusano Tsukano	36	女	ブラジル	98/4/10～ 99/3/26	鍼灸学	関西鍼灸短期大学 鍼灸学臨床教室 助教授 株田高士 〒590-0482 大阪府泉南郡熊取町若葉2-11-1 TEL 0724-53-8251
				98/4/13～ 99/3/19		
サトウ ナカエ シモネ Simone Nakae Sato	26	女	ブラジル	98/7/13～ 99/7/9	歯の矯正技術	大阪大学 歯学部 歯科矯正学講座 教授 高田健治 〒565-0871 吹田市山田丘1-8 TEL 06-6879-2958 FAX 06-6879-2960
				98/7/16～ 99/7/2		
山城 リタ Yamashiro Yuzuriha Lita Beatriz	34	女	ベ ル ー	98/7/13～ 99/7/9	先物取引とオ プションマー ケット	神戸大学 経営学部 学部長・教授 加護野忠男 〒657-0013 神戸市灘区六甲台2-1 TEL 078-803-0365 FAX 078-881-8100
				98/7/16～ 99/7/2		
大橋 勝 Masaru Ohashi	55	男	ブラジル	98/9/28～ 99/9/30	品質管理	近畿大学 理工学部 経営工学科 助教授 岩崎日出男 〒577-0818 東大阪市小若江3-4-1 TEL 06-6721-2332 (内4613) FAX 06-6730-1320
				98/10/1～ 99/9/24		
短期・一般技術研修員						
オハラ タバ ミツコ Mitsuko Taba Ohara	48	女	ブラジル	98/9/28～ 99/12/23	薬剤のトラン スアルマ効果 の向上	京都大学 大学院 薬学研究科 教授 橋田 充 〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46-29 TEL 075-753-4525 FAX 075-753-4575
				98/9/28～ 98/12/18		
ヤマキ ウンベルト テツヤ Humberto Tetsuya Yamaki	47	男	ブラジル	98/9/28～ 99/12/23	歴史的木造建 築の保存と修 復技術とプロ セス	大阪大学 工学部 環境工学科 教授 鳴海邦順 〒565-0871 吹田市山田丘2-1 TEL 06-6879-7656 FAX 06-6879-7681
				98/9/28～ 98/12/18		
柏木 光男 Mitsuo Kashiwagi	53	男	アルゼンティン	98/12/4～ 99/12/23 (osic移管期間)	花卉、花壇苗 及び栽培	(株)斎藤農場 代表取締役 斎藤晏弘 〒581-0864 八尾市山畑18 TEL 0729-41-8125 FAX 0729-41-1881
				98/12/7～ 98/12/21		
短期・研究交流型研修員						
西崎 進 Susumu Nishizaki Ota	57	男	ウルグアイ	99/2/1～ 99/3/3	人工補綴に関 する意見交換 及び交流	大阪大学 歯学部 教授 野首孝嗣 〒565-0871 吹田市山田丘1-8 TEL 06-6879-2952 FAX 06-6879-2957
				99/2/3～ 99/3/1		

第2編-第2章 青年招へい事業

第2章 青年招へい事業

1. 共通プログラム・評価プログラム

平成10年度から、従来東京で実施していた共通プログラム・評価プログラムを大阪国際センターでも実施することとなった。

平成10年度の大阪国際センターの実績は、全体71グループ、1,592名のうち49グループ、1,074名を占めた。

2. 分野別地方プログラム

平成9年度までは、全招へい期間が30日間であったことから地方プログラムは9日間であったが、平成10年度から招へい期間が28日間に短縮された為地方プログラムも8日間となった。

〔平成9年度青年招へい事業分野別地方プログラム受入実績（関西地域）〕

No	招へい期間	国名	分野	人数	実施県	地方実施協力団体	都内実施協力団体
1	5/21～ 6/19	シンガポール	社会開発	25	大阪	大阪市青少年国際交流協議会	勤労厚生協会
2	5/21～ 6/19	シンガポール	経済B	24	大阪	財日本国際協力センター 大阪支所	財日本国際協力センター
3	5/21～ 6/19	タイ	教育	22	京都	社青年海外協力協会 近畿支部	社青年海外協力協会
4	6/4～ 7/3	ヴェトナム	経済	25	大阪	財太平洋人材交流センター	社国際交流サービス協会
5	6/19～ 7/18	シンガポール	経済A2	24	京都	財京都ユースホステル協会	社日本経済青年協議会
6	9/10～ 10/9	モンゴル	勤労青年	10	和歌山	社和歌山県青少年育成協会	社国際交流サービス協会
7	10/16～ 11/14	アフリカ 英語圏	女性教員1	26	大阪	財大阪府国際交流財団	財大阪府国際交流財団
8	11/19～ 12/18	中国	産業基盤整備	25	兵庫	財兵庫県青少年本部	財世界青少年交流協会

〔平成10年度青年招へい事業分野別地方プログラム受入実績（関西地域）〕

No	招へい期間	国名	分野	人数	実施県	地方実施協力団体	都内実施協力団体
1	5/6～ 6/2	マレーシア	経済A	24	滋賀	滋賀県青年団体連合会	社青少年育成国民会議
2	5/20～ 6/16	シンガポール	経済A	17	大阪	財太平洋人材交流センター	社日本経済青年協議会
3	7/15～ 8/11	ヴェトナム	経済	25	兵庫	財神戸国際協力センター	財ユースワーカー能力開発協会
4	7/15～ 8/11	ヴェトナム	農業	25	和歌山	社和歌山県青年海外協力協会	社青年海外協力協会
5	10/14～ 11/10	アフリカ 英語圏	理数科教員	24	大阪	財大阪府国際交流財団	財大阪府国際交流財団
6	11/18～ 12/15	バングラデシュ	公務員 (福祉・WID)	20	京都	社青年海外協力協会 近畿支部	社青年海外協力協会
7	11/25～ 12/22	カンボディア	経済	30	兵庫	財兵庫県青少年本部	社青少年育成国民会議
8	1/13～ 2/9	タイ	社会開発	25	大阪	財大阪府青少年活動財団	社国際交流サービス協会

〔平成10年度青年招へい事業受入実績〕

No.	受入時期	国名	分野	人数	都内実施協力団体	実施県	地方実施協力団体
○ 1	5月6日(木)～ 6月2日(火) 2グループ 49名	マレーシア 〃	経営A(経済経営) 教育	24 25	(社)青少年育成国民会議 (財)日本ユースホステル協会	佐賀 北海道	滋賀県青年団体連合会 とまこまい国際交流センター
○ 2	5月13日(木)～ 6月9日(火) 3グループ 66名	インドネシア 〃 〃	経済A 経済B 教育	20 24 22	(社)国際交流サービス協会 (社)勤労厚生協会 (社)青年海外協力協会	栃木 群馬 山形	(社)栃木県青年会館 アセアン青年招へい事業館林市実行委員会 山形県青年海外協力協会
○ 3	5月20日(木)～ 6月16日(火) 2グループ 34名	シンガポール 〃	経済A 経済B	17 17	(社)日本経済青年協議会 (社)勤労厚生協会	大阪 北海道	(財)太平洋人材交流センター 千歳国際交流協会
○ 4	5月20日(木)～ 6月16日(火) 4グループ 100名	中 〃 〃 〃	青年指導者 経済青年 公務員 教育	25 25 25 25	(社)青少年育成国民会議 (財)ユースワーカー能力開発協会 (財)世界青少年交流協会 (社)国際交流サービス協会	沖縄 石川 徳島 富山	(社)沖縄県青少年育成県民会議 小松市国際交流協会 徳島県日中青年交流協会 (財)とよま国際センター
○ 5	5月27日(木)～ 6月23日(火) 4グループ 111名	アセアン混成 〃 〃 〃	環境保全 社会福祉 保健医療 行政	29 28 30 24	(社)日本経済青年協議会 (財)札幌国際プラザ (財)国際看護交流協会 (社)青少年育成国民会議	北海道 〃 群馬 福岡	釧路市海外青年招へい事業実行委員会 (財)札幌国際プラザ (財)国際看護交流協会 (社)九州・山口経済連合会
○ 6	6月10日(木)～ 7月7日(火) 2グループ 35名	ブルネイ ラオス	社会開発 農業関係公務員	15 20	(社)日本国際生活体験協会 (財)高知県国際交流協会	広島 高知	しょうばら国際交流協会 (財)高知県国際交流協会
○ 7	6月25日(木)～ 7月22日(木) 2グループ 39名	シンガポール 〃	教育 社会開発	20 19	(財)日本ユースホステル協会 (財)ユースワーカー能力開発協会	香川 沖縄	香川県海外派遣友の会 (財)沖縄県国際交流財団
○ 8	7月1日(木)～ 7月28日(火) 4グループ 99名	韓 〃 〃 〃	青年指導者・公務員 勤労青年(技術系) 教員(中学校) 学生(理工系)	24 25 25 25	(財)日本ユースホステル協会 (社)勤労厚生協会 (社)国際交流サービス協会 (財)世界青少年交流協会	群馬 北海道 茨城 北海道	(財)群馬県国際交流協会 (社)帯広青年会議所 茨城県外国青年招へい事業実行委員会 (社)滝川国際交流協会
○ 9	7月8日(木)～ 8月4日(火) 5グループ 112名	マレーシア 〃 〃 インドネシア 〃	経営B(中小企業) 農業開発 科学技術開発 農業 社会開発	24 15 24 25 24	(財)日本ユースホステル協会 (社)青年海外協力協会 (財)豊川市国際交流協会 (財)岩手県国際交流協会 (社)青少年育成国民会議	埼玉 大分 愛知 岩手 熊本	上尾市国際交流協会 大分県海外協会 (財)豊川市国際交流協会 (財)岩手県国際交流協会 熊本県青年海外協力協会
○ 10	7月15日(木)～ 8月11日(火) 2グループ 50名	ヴィエトナム 〃	経済 農業	25 25	(財)ユースワーカー能力開発協会 (社)青年海外協力協会	兵庫 和歌山	(財)神戸国際協力センター (社)和歌山県青少年育成協会
○ 11	7月15日(木)～ 8月11日(火) 4グループ 100名	中 〃 〃 〃	産業基盤整備 経済開発 地球振興 人材育成	25 25 25 25	(財)日本国際協力センター (社)勤労厚生協会 (財)世界青少年交流協会 (財)ユースワーカー能力開発協会	岡山 三重 長崎 北海道	(財)岡山県国際交流協会 (財)三重県国際交流財団 長崎県世界青年友の会 十勝インターナショナル協会
○ 12	8月19日(木)～ 9月15日(火) 3グループ 69名	タ 〃 〃	経済A 経済B 農業	20 24 25	(社)日本経済青年協議会 (社)勤労厚生協会 日本青年団協議会	鹿児島 愛知 岡山	(財)鹿児島県国際交流協会 ジャパンヤングサークル東海支部 (財)岡山県青年館

○印：共通プログラム評価プログラムを大阪国際センターで実施

No	受入時期	国名	分野	人数	都内実施協力団体	実施県	地方実施協力団体
○ 13	8月19日(木)～ 9月15日(火) 2グループ 45名	フィリピン 〃	経済A 農業	20 25	(財)日本国際協力センター (社)青年海外協力協会	香川 石川	(財)香川県国際交流協会 (財)石川県国際交流協会
○ 14	8月26日(木)～ 9月22日(火) 2グループ 29名	バブア・ニューギニア 〃	公務員 教員	10 19	(財)世界青少年交流協会 (社)青年海外協力協会	新潟 静岡	(財)新潟県国際交流協会 沼津国際交流協会
○ 15	9月23日(木)～ 10月20日(火) 3グループ 30名	ブータン/モルディブ ネパール スリ・ランカ	教育(小中高教員) 教育(理数科教員) 教育(小中高教員)	10 10 10	(社)国際交流サービス協会 (財)日本国際協力センター (財)世界青少年交流協会	佐賀 長野 島根	佐賀ユネスコ協会 (社)駒ヶ根青年会議所 島根県国際交流青友会
○ 16	10月7日(木)～ 11月3日(火) 1グループ 20名	サウディ・アラビア	教育(小中高教員)	20	(社)青年海外協力協会	福島	にほんまつ地球市民の会
○ 17	10月14日(木)～ 11月10日(火) 4グループ 92名	アフリカ英語圏 アフリカ仏語圏 アフリカ英語圏 アフリカ仏語圏	女性教員 〃 理数科教員 〃	21 24 24 23	(社)青少年育成国民会議 (財)世界青少年交流協会 (財)大阪府国際交流財団 (社)青年海外協力協会	福井 静岡 大阪 青森	武生市国際交流協会 (財)静岡県国際交流協会 (財)大阪府国際交流財団 青森県青年海外協力協会
○ 18	11月11日(木)～ 12月8日(火) 3グループ 59名	太平洋混成 〃 フィジー	公務員 教員 公務員	24 23 12	(財)日本経済青年協議会 (財)日本国際生活体験協会 (社)国際交流サービス協会	徳島 愛媛 福岡	徳島県青年海外協力協会 (財)愛媛県国際交流協会 福岡県海外青年招へい事業実行委員会
○ 19	11月18日(木)～ 12月15日(火) 3グループ 60名	ミャンマー バングラデシュ パキスタン	教育 公務員(福祉-WID) 女性小中高教員	20 20 20	(財)日本国際協力センター (社)青年海外協力協会 (財)日本ユースホステル協会	秋田 京都 宮城	秋田世界青年友の会 (社)青年海外協力協会近畿支部 宮城ユースホステル協会
○ 20	11月25日(木)～ 12月22日(火) 2グループ 58名	インド カンボディア	教育(理数科教員) 経済	28 30	(財)世界青少年交流協会 (社)青少年育成国民会議	岐阜 兵庫	岐阜県世界青年友の会 (財)兵庫県青少年本部
○ 21	11月25日(木)～ 12月22日(火) 4グループ 109名	アセアン混成 〃 〃 中央アジア	教育 経済1 経済2 経済	25 29 30 25	(財)愛知県国際交流協会 (財)日本経済青年協議会 (社)勤労厚生協会 (社)青少年育成国民会議	愛知 鳥取 山口 北海道	(財)愛知県国際交流協会 とっとり青友会 (財)山口県国際交流協会 北海道YMC A
○ 22	1月13日(木)～ 2月9日(火) 4グループ 97名	タイ 〃 ベトナム 〃	教育 社会開発 公務員 教育	22 25 25 25	(財)日本国際協力センター (社)国際交流サービス協会 (財)日本ユースホステル協会 (財)ユースワーカー能力開発協会	山梨 大阪 福島 宮崎	(社)青少年育成山梨県会議 (財)大阪府青少年活動財団 福島県青年海外派遣友の会 ユースワーカー能力開発協会宮城支部
○ 23	1月13日(木)～ 2月9日(火) 4グループ 80名	フィリピン 〃 〃 モンゴル	教育 社会開発 経済B 勤労青年	22 26 22 10	(財)日本国際生活体験協会 (財)日本ユースホステル協会 (社)青少年育成国民会議 (財)世界青少年交流協会	愛媛 石川 千葉 山口	愛媛県青年海外協力協会 (財)石川県ユースホステル協会 (財)千葉県国際交流協会 世界青年徳山友の会
○ 24	1月20日(木)～ 2月16日(火) 2グループ 49名	中南米混成 〃	社会福祉 小中学校教員	22 27	(財)世界青少年交流協会 (社)青年海外協力協会	岡山 山形	岡山県世界青年友の会 (財)山形県国際交流財団
合計		アセアン 6カ国 (741) インドシナ 3カ国 (150) 太平洋 14カ国 (88) アフリカ 36カ国 (92)		中国 (200) 南西アジア 7カ国 (98) モンゴル (10) サウディアラビア (20)	韓国 (99) 中南米 21カ国 (49) ミャンマー (20) 中央アジア 5カ国 (25)	71グループ 1,592名 97カ国	

〔平成10年度青年招へい事業標準プログラム〕

			実 施 内 容	宿 泊
共通プログラム	1	水	来日	(大阪)国際センター
	2	木	ブリーフィング/開講式/団体紹介/日本語学習	〃
	3	金	講義「日本人の生活と価値観」/日本語学習	〃
	4	土	日本語学習/体験的日本語学習	〃
	5	日	自主研修	〃
分野基礎	6	月	専門分野にかかる基礎的講義・質疑応答等/(日本語学習)	〃
	7	火	専門分野にかかる基礎的講義・質疑応答等/施設見学	〃
分野別都内プログラム	8	水	団体ブリーフィング	都内の宿舎
	9	木	当該省庁等における専門的講義 /専門分野関連施設における講義・質疑応答・現場勤労者との意見交換	〃
	10	金	移動/合宿セミナー(開会/スポーツ/レクリエーション)	合宿施設
	11	土	合宿セミナー(基調講演/分科会/交流の夕べ)	〃
	12	日	合宿セミナー(全体会/講評/質疑応答)/移動	都内の宿舎
	13	月	自主研修	〃
	14	火	専門分野関連施設における講義・質疑応答・現場勤労者との意見交換	〃
分野別地方プログラム	15	水	移動/地方団体ブリーフィング/当該地方の概要	地方の宿舎
	16	木	地方の特色のある専門分野の講義・質疑応答・現場勤労者との意見交換	〃
	17	金	ホームステイ引き渡し	受入家庭
	18	土	ホームステイ	〃
	19	日	ホームステイ/交流の夕べ	地方の宿舎
	20	月	自主研修	〃
	21	火	地方の特色のある専門分野の講義・質疑応答・現場勤労者との意見交換	〃
	22	水	地方の特色のある専門分野の講義・質疑応答・現場勤労者との意見交換	〃
見学旅行	23	木	移動/見学旅行	見学旅行先宿舎 国際センター含む
	24	金	見学旅行	〃
	25	土	見学旅行/移動	(大阪)国際センター
評価	26	日	帰国準備	〃
	27	月	帰国に関する説明・諸手続き/評価会/閉講式・歓送会	〃
	28	火	帰国	

第2編－第3章 青年海外協力隊事業

第3章 青年海外協力隊事業

1. 募集説明会及び選考試験

(1) 募集説明会

〔平成9年度青年海外協力隊春募集説明会実績〕

県	都市名(会場)	開催日	参加者 男性 (人)	参加者 女性 (人)	合計 (人)
滋賀県	大津市(滋賀ビル)	5月15日	26	40	66
	近江八幡市(滋賀県立女性センター)	5月21日	15	15	30
	彦根市(彦根勤労福祉会館)	4月17日	14	22	36
	計(3回)		55	77	132
京都府	京都市1(京都テルサ)	4月22日	59	74	133
	京都市2(京都テルサ)	5月13日	50	72	122
	京都市3(京都テルサ)	5月22日	56	90	146
	福知山市(サンプラザ 万助)	5月16日	9	14	23
	舞鶴市(舞鶴西総合会館)	4月24日	4	4	8
	計(5回)		161	288	449
大阪府	大阪市梅田1(阪急グランドビル)	4月15日	107	224	331
	大阪市梅田2(阪急グランドビル)	5月7日	108	151	259
	大阪市梅田3(阪急グランドビル)	5月23日	68	109	177
	大阪天王寺1(アポロビル)	4月19日	82	108	190
	大阪天王寺2(アポロビル)	5月14日	79	100	179
	大阪天王寺3(アポロビル)	5月19日	49	80	129
	茨木市(JICA大阪国際センター)	5月23日	14	26	40
	豊中市(豊中市市民会館)	4月25日	38	36	74
計(8回)		545	834	1379	
兵庫県	神戸市1(兵庫県農業会館)	4月18日	36	68	104
	神戸市2(兵庫県農業会館)	5月9日	29	58	87
	神戸市3(兵庫県農業会館)	5月20日	38	65	103
	姫路市(姫路市民会館)	5月8日	19	59	78
	芦屋市(芦屋市国際交流協会)	5月18日	29	24	53
	計(5回)		151	274	425
奈良県	奈良市1(奈良県文化会館)	4月23日	19	35	54
	奈良市2(奈良県文化会館)	5月21日	22	39	61
	橿原市(橿原文化会館)	4月21日	17	31	48
	計(3回)		58	105	163
和歌山県	和歌山市1(和歌山ターミナルホテル)	4月23日	10	19	29
	和歌山市2(和歌山ターミナルホテル)	5月15日	17	24	41
	田辺市(田辺市民総合センター)	4月24日	3	0	3
	橋本市(橋本商工会館)	5月17日	4	5	9
	計(4回)		34	48	82
	総合計(28回)		1017	1588	2613

[平成9年度青年海外協力隊秋募集説明会実績]

県	都市名(会場)	開催日	参加者 男性 (人)	参加者 女性 (人)	合計 (人)
滋賀県	大津市(滋賀ビル)	10月29日	14	18	32
	彦根市(彦根勤労福祉会館)	11月17日	10	9	19
	近江八幡市(滋賀県立女性センター)	11月14日	9	12	21
	計(3回)		33	39	72
京都府	京都市1(京都テルサ)	10月23日	43	49	92
	京都市2(京都テルサ)	11月7日	35	60	95
	京都市3(京都テルサ)	11月20日	35	50	85
	福知山市(サンプラザ万助)	10月30日	7	8	15
	舞鶴市(舞鶴市西総合文化会館)	11月13日	5	4	9
	計(5回)		120	171	296
大阪府	大阪市梅田1(阪急グランドビル)	10月21日	72	165	237
	大阪市梅田2(阪急グランドビル)	11月11日	43	123	166
	大阪市梅田3(阪急グランドビル)	11月26日	37	78	115
	大阪市難波1(大阪府立体育会館)	10月16日	89	99	188
	大阪市難波2(大阪府立体育会館)	11月5日	58	86	144
	大阪市難波3(大阪府立体育会館)	11月20日	37	75	112
	大阪市(大阪国際交流センター)	10月31日	21	40	61
	計(7回)		357	666	1023
兵庫県	神戸市1(兵庫県農業会館)	10月20日	35	57	92
	神戸市2(兵庫県農業会館)	11月6日	28	43	71
	神戸市3(兵庫県農業会館)	11月25日	12	27	39
	姫路市(姫路市民会館)	11月18日	17	37	54
	芦屋市(芦屋市国際交流協会)	11月15日	12	8	20
	計(5回)		104	172	276
奈良県	奈良市1(奈良県文化会館)	10月17日	21	23	44
	奈良市2(奈良県文化会館)	11月21日	16	16	32
	橿原市(奈良県社会福祉総合センター)	11月14日	12	22	34
	計(3回)		49	61	110
和歌山県	和歌山市1(和歌山ターミナルホテル)	11月10日	13	15	28
	和歌山市2(和歌山ターミナルホテル)	11月21日	6	9	15
	田辺市(田辺市民総合センター)	11月11日	6	8	14
	橋本市(橋本商工会館)	11月22日	2	7	9
	計(4回)		27	39	66
総合計(27回)			690	1148	1843

[平成9年度青年海外協力隊特別募集説明会実績]

	実施月日	実施対象	
1	4月14日	関西電力労働組合	保守操作関係
2	12月3日	大阪府立大学海外農業研究生	農林水産関係
3	12月3日	和歌山県海外派遣農業研修生	農林水産関係

〔平成10年度青年海外協力隊春募集説明会実績〕

県	都市名(会場)	開催日	参加者 男性 (人)	参加者 女性 (人)	合計 (人)
滋賀県	大津市(滋賀ビル)	4月24日	17	19	36
	近江八幡市(滋賀県立女性センター)	5月8日	14	15	29
	彦根市(彦根勤労福祉会館)	5月20日	6	15	21
	計(3回)		37	49	86
京都府	京都市1(京都テルサ)	4月16日	30	71	101
	京都市2(京都テルサ)	4月27日	57	76	133
	京都市3(京都テルサ)	5月21日	35	50	85
	京都市4(京都市国際交流会館)	5月15日	34	83	117
	福知山市(サンプラザ 万助)	5月12日	5	8	13
	計(5回)		161	288	449
大阪府	大阪市梅田1(新阪急ビル)	4月15日	103	144	247
	大阪市梅田2(新阪急ビル)	5月11日	52	113	165
	大阪市梅田3(新阪急ビル)	5月22日	50	123	173
	大阪市1(NTT研修センター)	4月23日	45	51	96
	大阪市2(ビッグステップ)	4月28日	57	115	172
	大阪市3(ビッグステップ)	5月7日	53	88	141
	高槻市(高槻市立総合市民交流センター)	4月21日	36	43	79
	茨木市(JICA大阪国際センター)	5月9日	26	34	70
	計(8回)		422	711	1133
兵庫県	神戸市1(神戸市産業振興センター)	4月17日	37	59	96
	神戸市2(神戸市勤労会館)	5月14日	35	82	117
	神戸市3(兵庫県農業会館)	5月19日	27	56	83
	姫路市(姫路市民会館)	5月6日	28	47	75
	芦屋市(芦屋市国際交流協会)	5月17日	22	27	49
	計(5回)		149	271	420
奈良県	奈良市1(奈良県文化会館)	4月22日	23	38	61
	奈良市2(奈良県文化会館)	5月20日	29	28	57
	橿原市(橿原文化会館)	5月13日	16	27	43
	計(3回)		68	93	161
和歌山県	和歌山市1(和歌山ターミナルホテル)	4月20日	16	14	30
	和歌山市2(和歌山県民文化会館)	5月15日	2	7	9
	田辺市(田辺市民総合センター)	5月17日	7	5	12
	橋本市(橋本商工会館)	4月21日	1	5	6
	計(4回)		26	31	57
	総合計(28回)		863	1443	2306

〔平成10年度青年海外協力隊秋募集説明会実績〕

県	都市名 (会場)	開催日	参加者 男性 (人)	参加者 女性 (人)	合計 (人)
滋賀県	大津市 (滋賀ビル)	11月14日	17	19	36
	彦根市 (彦根勤労福祉会館)	10月23日	9	10	19
	守山市 (つがやま荘)	10月27日	7	15	22
	計 (3回)		33	44	77
京都府	京都市1 (京都市国際交流会館)	10月15日	29	46	75
	京都市2 (京都テルサ)	10月26日	45	42	87
	京都市3 (京都市国際交流会館)	11月11日	43	42	85
	京都市4 (京都市青少年活動センター)	11月17日	29	49	78
	福知山市 (サンプラザ 万助)	10月22日	4	6	10
計 (5回)		150	185	335	
大阪府	大阪市梅田1 (阪急グランドビル)	10月19日	68	136	204
	大阪市梅田2 (阪急グランドビル)	10月29日	64	94	158
	大阪市梅田3 (阪急グランドビル)	11月16日	70	104	174
	大阪市難波1 (大阪府立体育会館)	10月21日	56	65	121
	大阪市難波2 (大阪府立体育会館)	11月5日	77	63	140
	大阪市難波3 (大阪府立体育会館)	11月13日	51	56	107
	大阪市 (大阪国際交流センター)	11月20日	33	30	63
	高槻市 (高槻市立総合市民交流センター)	11月10日	24	42	66
計 (8回)		443	590	1033	
兵庫県	神戸市1 (神戸市勤労会館)	10月16日	28	41	69
	神戸市2 (神戸市勤労会館)	11月18日	30	54	84
	神戸市3 (兵庫国際プラザ)	11月22日	24	18	42
	姫路市 (姫路市民会館)	11月30日	25	43	68
	芦屋市 (芦屋市国際交流協会)	11月7日	24	19	43
計 (5回)		131	175	306	
奈良県	奈良市1 (奈良県文化会館)	10月20日	20	19	39
	奈良市2 (奈良県文化会館)	11月21日	16	20	36
	橿原市 (橿原万葉ホール)	10月29日	12	9	21
	生駒市 (生駒市コミュニティ・センター)	11月4日	8	18	26
計 (4回)		56	66	122	
和歌山県	和歌山市 (和歌山ターミナルホテル)	10月17日	7	10	17
	田辺市 (田辺市民総合センター)	11月8日	5	4	9
	橋本市 (橋本商工会館)	10月18日	2	6	8
計 (3回)		14	20	34	
	総合計 (28回)		827	1080	1907

〔平成10年度青年海外協力隊特別説明会実績〕

	実施月日	実施対象	対象職種
1	4月25日	関西電力労働組合	保守操作関係
2	5月20日	舞鶴工業高等専門学校	保守操作及び土木建築関係
3	5月28日	奈良工業高等専門学校	保守操作及び土木建築関係
4	7月2日	和歌山工業高等専門学校	保守操作及び土木建築関係
5	7月7日	奈良県農業大学校	農林水産関係
6	7月13日	滋賀県農業大学校	農林水産関係
7	10月30日	日本医療学院専門学校	保険医療関係
8	11月27日	京都府立農業大学校	農林水産関係
9	12月4日	大阪府立大学海外農業研究会	農林水産関係

(2) 選考試験

〔平成9年度青年海外協力隊春・秋募集選考試験実績〕

平成9年度春募集							
一 次 試 験				二 次 試 験			
府県名	応募者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者数	合格者数	合格率 (%) (合格者/1次受験者)
滋 賀	39	27	16	59.3	16	8	29.6
京 都	101	63	27	42.9	27	9	14.3
大 阪	253	173	74	42.8	72	40	23.1
兵 庫	136	94	42	44.7	41	23	24.5
奈 良	45	32	14	43.8	12	7	21.9
和歌山	17	13	7	58.8	6	4	30.8
合 計	591	402	180	44.8	174	91	22.6
平成9年度秋募集							
一 次 試 験				二 次 試 験			
府県名	応募者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者数	合格者数	合格率 (%) (合格者/1次受験者)
滋 賀	34	24	11	45.8	11	7	29.2
京 都	94	72	34	47.2	32	12	16.7
大 阪	232	174	79	45.4	73	38	21.8
兵 庫	130	102	47	46.1	47	19	18.6
奈 良	52	41	23	56.1	23	7	17.1
和歌山	16	9	3	33.3	3	1	11.1
合 計	558	422	197	46.7	188	84	19.9

[平成10年度青年海外協力隊春・秋募集選考試験実績]

平成10年度春募集							
一 次 試 験					二 次 試 験		
府県名	応募者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者数	合格者数	合格率 (%) (合格者/1次受験者)
滋 賀	40	31	13	41.9	13	6	19.4
京 都	103	71	36	50.7	32	18	25.3
大 阪	237	163	79	48.5	75	37	22.7
兵 庫	175	123	58	47.1	57	31	25.2
奈 良	57	39	20	51.3	19	6	15.4
和歌山	14	10	7	70.0	7	5	50.0
合 計	626	437	213	48.7	203	103	23.6
平成10年度秋募集							
一 次 試 験					二 次 試 験		
府県名	応募者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)	受験者数	合格者数	合格率 (%) (合格者/1次受験者)
滋 賀	36	28	11	39.3	10	6	21.4
京 都	108	82	36	44.0	31	13	15.9
大 阪	289	196	72	36.7	66	27	13.8
兵 庫	171	134	60	44.8	57	26	19.4
奈 良	55	40	25	62.5	21	11	27.5
和歌山	16	12	6	50.0	6	2	16.7
合 計	675	492	210	42.7	191	85	17.3

2. 自治体等表敬

〔平成9年度青年海外協力隊員赴任前自治体等表敬訪問実績〕

府県・市・団体等	1 次 隊		2 次 隊		3 次 隊	
	実施日	隊員数	実施日	隊員数	実施日	隊員数
滋賀県	6月30日	6	11月27日	2	3月30日	5
京都府	6月30日	9	11月25日	7	4月3日	5
大阪府	7月2日	19	11月25日	24	3月27日	15
兵庫県	7月1日	10	11月25日	20	3月27日	18
奈良県	6月30日	7	11月28日	5	3月27日	1
和歌山県	6月30日	1	12月2日	1	4月3日	1
大阪市	7月2日	6	11月25日	8	3月27日	4
茨木市	対象者なし		11月27日	1	3月30日	1
吹田市	7月3日	2	11月27日	2	4月3日	1
豊中市	対象者なし		11月28日	1	3月27日	2
箕面市	7月4日	2	対象者なし		対象者なし	
(財)大阪府国際交流財団	7月2日	19	11月27日	24	3月27日	15
(財)大阪国際交流センター	7月2日	5	11月25日	8	3月27日	4
〔外務省大阪分室〕	実施せず		11月25日	24	3月27日	15

〔平成10年度青年海外協力隊員赴任前自治体等表敬訪問実績〕

府県・市・団体等	1 次 隊		2 次 隊		3 次 隊	
	実施日	隊員数	実施日	隊員数	実施日	隊員数
滋賀県	7月3日	9	11月30日	2	3月29日	4
京都府	7月6日	5	12月3日	8	3月30日	5
大阪府	7月9日	19	12月1日	20	3月30日	20
兵庫県	7月7日	13	12月1日	13	3月29日	19
奈良県	7月3日	7	11月27日	3	3月26日	7
和歌山県	7月7日	5	対象者なし		3月29日	3
大阪市	7月9日	5	12月1日	8	3月30日	7
京都市	7月8日	3	12月4日	8	対象者なし	
神戸市	7月3日	6	12月3日	2	3月29日	4
茨木市	対象者なし		11月30日	1	対象者なし	
吹田市	対象者なし		12月2日	1	対象者なし	
豊中市	対象者なし		対象者なし		4月2日	1
(財)大阪府国際交流財団	7月9日	19	12月1日	20	3月30日	20
(財)大阪国際交流センター	7月9日	5	12月1日	8	3月30日	7
(財)神戸国際協力センター	7月3日	6	12月3日	2	3月29日	4
〔外務省大阪分室〕	7月9日	19	12月1日	20	3月30日	20

3. 留守家族懇談会及び帰国隊員報告会

大阪国際センターでは、留守家族懇談会と帰国隊員報告会を各府県のOB会を始め自治体、関連団体との共催で実施しており、またその相乗効果を配慮し通例として、同時開催としている。

〔平成9年度青年海外協力隊留守家族懇談会及び帰国隊員報告会実績〕

	名称・主催	会場・実施日	開催内容	出席者
滋賀県	青年海外協力隊交流会 〔主催〕 滋賀県 青年海外協力隊プラザ淡海	ホテル・ニューサイ チアネックス 平成10年2月1日	*帰国隊員報告会 *留守家族懇談会 (10家族14名)	43名
	協力隊パネル展・帰国隊員報告会(秋) 〔主催〕 滋賀県青年海外協力協会 青年海外協力隊プラザ淡海 JICA大阪国際センター	エルティ草津 平成9年10月11日 12日	*帰国隊員報告会 *協力隊パネル展	3,000名 (参集)
	協力隊パネル展・帰国隊員報告会(春) 〔主催〕 滋賀県青年海外協力協会 青年海外協力隊プラザ淡海 JICA大阪国際センター	甲西町立図書館 平成10年2月21日 22日	*帰国隊員報告会 *協力隊パネル展	160名 (参集)
京都府	留守家族懇談会 〔主催〕 京都府青年海外協力協会 JICA大阪国際センター	京都府国際センター 平成10年3月29日	*帰国隊員報告会 *留守家族懇談会 (22家族30名)	50名
大阪府	帰国隊員報告会及び留守家族懇談会 〔主催〕 大阪府、大阪府国際交流財団 協力隊大阪府OB会 協力隊プラザ大阪 JICA大阪国際センター	エル・大阪 (府立労働センター) 平成10年1月17日	*帰国隊員報告会 *海外研修生生活動報告 *留守家族懇談会 (28家族40名)	125名
兵庫県	帰国隊員報告会・留守宅懇談会・協力隊OB懇談会 〔主催〕 兵庫県国際交流協会 協力隊兵庫県OB会 JICA大阪国際センター	神戸国際会議場 平成10年3月21日	*帰国隊員報告会 *留守家族懇談会 (11名)	42名
奈良県	帰国隊員報告会・留守家族懇談会 〔主催〕 奈良県青年海外協力協会 JICA大阪国際センター	大和郡山市中央会館 平成10年3月15日	*帰国隊員報告会 *留守家族懇談会 (11家族25名)	30名
和歌山県	協力隊留守家族懇談会 〔主催〕 和歌山県	まつや 平成9年12月10日	*隊員OBの報告 *留守家族懇談会 (11名)	20名

〔平成10年度青年海外協力隊留守家族懇談会及び帰国隊員報告会実績〕

	名称・主催	会場・実施日	開催内容	出席者
滋賀県	青年海外協力隊交流会 〔主催〕滋賀県 青年海外協力隊プラザ淡海	ホテル・ニューサイ チアネックス 平成11年1月31日	*帰国隊員報告会 *留守家族懇談会 (7家族10名)	33名
	協力隊パネル展・帰国隊員報告会 〔主催〕滋賀県青年海外協力協会 青年海外協力隊プラザ淡海 JICA大阪国際センター	西武ショッピングセンター6階 アハレクサイドホテル(大津市) 平成10年10月17日 ~18日	*帰国隊員報告会(3名) *協力隊パネル展	30名
	協力隊パネル展・帰国隊員報告会 〔主催〕滋賀県青年海外協力協会 青年海外協力隊プラザ淡海 JICA大阪国際センター	ひまわり館 (近江八幡市) 平成11年3月22日 ~23日	*帰国隊員報告会(4名) *協力隊パネル展	43名
京都府	留守家族懇談会 〔主催〕京都府青年海外協力協会 JICA大阪国際センター	ギャラリーかめおか 平成11年2月20日	*留守家族懇談会 (17家族25名)	43名
	帰国隊員報告会 〔主催〕京都府青年海外協力協会 JICA大阪国際センター	園部国際交流会館 平成10年4月18日	*帰国隊員報告会(1名) *パネルディスカッション	30名
大阪府	帰国隊員報告会及び留守家族懇談会 〔主催〕大阪府、大阪府国際交流財団 協力隊大阪府OB会 協力隊プラザ大阪 JICA大阪国際センター	エル・大阪 (府立労働センター) 平成11年1月23日	*帰国隊員報告会(3名) *留守家族懇談会 (93名)	145名
奈良県	帰国隊員報告会・留守家族懇談会 〔主催〕奈良県青年海外協力協会 奈良県JICA専門家連絡会 JICA大阪国際センター	三の丸会館 (大和郡山市) 平成11年3月14日	*帰国隊員報告会(2名) *留守家族懇談会 (14家族24名)	35名
和歌山県	協力隊留守家族懇談会 〔主催〕和歌山県	まつや 平成10年12月12日	*留守家族懇談会 (9家族14名)	29名

〔平成9・10年度青年海外協力隊進路開拓研修会実績〕

平成9年度	実施日	平成10年3月13日(金)	
	会場	堂島ホテル	
	内容	研修会及び懇談会	
	出席者	地方自治体及び職業安定所 11名 一般企業 16社18名 青年海外協力隊プラザ大阪ほか関係団体 3名 青年海外協力隊帰国隊員 21名 JICA大阪国際センター 12名	
平成10年度	実施日	平成10年3月12日(金)	
	会場	大阪全日空ホテル	
	内容	研修会及び懇談会	
	出席者	地方自治体及び職業安定所 10名 一般企業 19社22名 青年海外協力隊プラザ大阪ほか関係団体 5名 青年海外協力隊帰国隊員 20名 JICA大阪国際センター 10名	

4. 近畿ブロック事務担当者会議

自治体との連携による協力隊事業の円滑な実施のため、毎年各府県持ち回りによるブロック担当者会議を開催している。

〔平成9・10年度青年海外協力隊近畿ブロック事務担当者会議〕

平成9年度	開催担当県	兵庫県
	日時	平成10年3月18日(木) 13:30~16:00
	開催場所	兵庫県職員会館
	出席機関	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、(社)青年海外協力協会近畿支部、青年海外協力隊プラザ大阪、青年海外協力隊事務局、JICA大阪国際センター
出席者数	15名	
平成10年度	開催担当県	滋賀県
	日時	平成11年2月10日(木) 13:30~16:00
	開催場所	滋賀県庁本館 4A会議室
	出席機関	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、(財)兵庫県国際交流協会、滋賀県青年海外協力協会、(社)青年海外協力協会近畿支部、青年海外協力隊事務局、JICA大阪国際センター
出席者数	15名	

5. 進路相談

関西地域の帰国隊員の進路相談業務のため、大阪国際センターに進路相談カウンセラー（1名）を配置するとともに、年1回進路開拓相談会を開催している。

〔平成9・10年度青年海外協力隊進路相談業務実績〕

	帰 国 隊 員				企 業 関 係			
	電話相談（件）		面談（人）		企業等への相談（件）		企業等からの相談（件）	
	9年度	10年度	9年度	10年度	9年度	10年度	9年度	10年度
4 月	4	9	35	26	10	9	6	14
5 月	4	5	43	12	22	9	7	5
6 月	7	5	21	14	12	12	3	8
7 月	7	10	20	5	13	9	13	11
8 月	9	5	17	28	5	4	12	3
9 月	12	11	16	20	4	5	7	4
10 月	12	9	7	18	7	5	6	5
11 月	7	8	13	18	6	5	2	7
12 月	8	6	8	7	4	4	3	2
1 月	6	8	9	7	5	3	5	5
2 月	4	14	20	4	2	4	3	5
3 月	6	10	13	13	2	0	5	4
合 計	72	100	181	172	67	69	56	73

6. 青年海外協力隊OB・OG会活動

帰国隊員の活動は、協力隊事業の啓発のみならず、国際協力に対する市民層への理解を拡大するうえでも有益であり、大阪国際センターでも、こうしたOB・OG会との連携を図りつつ、必要に応じ活動を支援している。

〔平成9・10年度青年海外協力隊OB・OG会活動実績〕

	OB・OG会	主 要 活 動 内 容
平成9年度実績	滋賀県青年海外協力協会	派遣隊員壮行会、海外技術研修生との懇談会、ホームステイ受入、国際交流青年の集い、パネル展
	京都府青年海外協力協会	派遣隊員壮行会、国際ふれあい農民収穫祭、地球市民ふれあいセミナー、「ゆめっとフェスタ」参加
	大阪府協力隊OB・OG会	派遣隊員壮行会、ICO国際交流フォーラム、FMCoCoLo特別番組放送、大阪府技術研修生との懇談会、隊員ビデオ作成
	兵庫県協力隊OB会	セミナー「21世紀のボランティア社会に向けて」、 「神戸祭り」参加
	奈良県青年海外協力協会	国際協力の広場、グローバル教育研究会、奈良県研修生との懇談会、派遣隊員レポート「South Wind」発行
	和歌山県青年海外協力協会	派遣隊員壮行会、県発行広報誌作成への協力
平成10年度実績	滋賀県青年海外協力協会	派遣隊員壮行会、地球市民フォーラム「滋賀」参加、高校生国際交流セミナー、パネル展
	京都府青年海外協力協会	派遣隊員壮行会、国際ふれあい農国収穫祭、地球市民ふれあいセミナー、「ゆめっとフェスタ」参加、京都府海外研修員との交流会
	大阪府協力隊OB・OG会	派遣隊員壮行会、国際交流フォーラム、FMCoCoLo特別番組出演、大阪府技術研修生との懇談会、国際交流キャンプ、ワンワールドフェスティバル参加
	兵庫県協力隊OB会	派遣隊員壮行会、「神戸祭り」参加、写真展開催、兵庫県ふれあいフェスティバル
	奈良県青年海外協力協会	国際協力の広場、グローバル教育研究会、奈良県研修生との懇談、ユニセフ街頭募金、青少年21世紀セミナー
	和歌山県青年海外協力協会	派遣隊員壮行会、地球市民セミナー、アジア子供フェスティバル
	各府県共通	募集説明会・選考試験、帰国隊員報告会、会報発行、留守家族懇談会、開発教育支援のための講師派遣など

第2編-第4章 その他のボランティア事業

第4章 その他のボランティア事業

国際協力事業団が実施する海外ボランティア事業は、「青年海外協力隊」「シニア海外ボランティア」「日系社会青年ボランティア」「日系社会シニアボランティア」の4つに類別されているが、青年海外協力隊事業については第3章で報告済みであり、ここではその他の3事業についての報告とする。

1. シニア海外ボランティア事業

〔平成9・10年度シニア海外ボランティア登録者募集説明会実績〕

平成9年度	第1回	開催日	平成9年4月10日
		会場	京都国際交流会館（京都市左京区）
		参加人数	100名
	第2回	開催日	平成9年9月9日
		会場	大阪国際交流センター（大阪市天王寺区）
		参加人数	59名
平成10年度	第1回	開催日	平成10年4月16日
		会場	大阪国際交流センター（大阪市天王寺区）
		参加人数	162名
	第2回	開催日	平成10年9月28日
		会場	大阪国際交流センター（大阪市天王寺区）
		参加人数	71名

2. 日系社会シニアボランティア事業

〔平成9・10年度日系社会シニアボランティア募集説明会実績〕

平成9年度	開催日	平成9年9月17日
	会場	阪急グランドビル26F（大阪市北区）
	参加人数	75名
平成10年度	開催日	平成10年10月10日
	会場	新阪急ビル、スカイルーム（大阪市北区）
	参加人数	76名

3. 日系社会青年ボランティア事業

〔平成9・10年度日系社会青年ボランティア募集説明会実施実績〕

	月日	県名	開催会場	参加者 男性 (人)	参加者 女性 (人)	参加者 合計 (人)	備考
平成 9 年 度	4月15日	大阪府	阪急グランドビル(大阪市)	107	224	331	※
	4月16日	京都府	京都社会福祉会館(京都市)	11	18	29	
	4月17日	滋賀県	彦根勤労福祉会館(彦根市)	15	15	30	※
	4月23日	奈良県	奈良県文化会館(奈良市)	19	35	54	※
	5月1日	京都府	京都社会福祉会館(京都市)	23	47	70	
	5月2日	大阪府	大阪市立労働会館(大阪市)	23	51	74	
	5月12日	兵庫県	兵庫県農業会館(神戸市)	13	39	52	
	5月15日	滋賀県	滋賀ビル(大津市)	26	40	66	※
	5月16日	和歌山県	和歌山ターミナルホテル(和歌山市)	17	24	41	※
	5月26日	兵庫県	兵庫県農業会館(神戸市)	7	19	26	
	合計			261	512	773	
平成 10 年 度	4月15日	大阪府	新阪急ビル(大阪市)	103	144	247	※
	4月16日	京都府	京都テレサ(京都市)	30	71	101	※
	4月20日	和歌山県	和歌山ターミナルホテル(和歌山市)	16	14	30	※
	4月22日	奈良県	奈良県文化会館(奈良市)	23	38	61	※
	4月24日	滋賀県	滋賀ビル(大津市)	17	19	36	※
	4月30日	兵庫県	兵庫県農業会館(神戸市)	15	60	75	
	5月1日	大阪府	アピオ大阪(大阪市)	37	68	105	
	5月8日	滋賀県	滋賀県立女性センター (近江八幡市)	6	15	21	※
	5月9日	大阪府	JICA大阪国際センター (茨木市)	26	34	60	※
	5月12日	京都府	サンプラザ 万助 (福知山市)	5	8	13	※
	5月18日	京都府	京都社会福祉会館(福知山市)	16	54	70	
	5月19日	兵庫県	兵庫県農業会館(神戸市)	27	56	83	※
5月20日	奈良県	奈良県文化会館(奈良市)	29	28	57	※	
	合計			350	609	959	

※：青年海外協力隊事業との合同説明会

第2編－第5章 自治体等との連携事業

第5章 自治体等との連携事業

1. 自治体・国際交流団体との連携

国際協力事業に対する市民層の幅広い理解と支持を得て「国民参加型援助」を推進するため、大阪国際センターでは自治体を始め国際交流団体やN G Oとの連携を積極的に進めている。

(1) 国際協力推進員

大阪国際センターでは平成8年度から1名の国際協力推進員を(財)大阪国際交流センター(I-house)内の情報カウンター内に配置し、市民への広報、事業案内、青年海外協力隊の応募相談、他機関やN G Oと連携したキャンペーン事業の企画などを行っている。

(2) 地方自治体職員等国際協力実務研修

本研修は、地方自治体や地域の国際交流団体など国際交流・協力を携わる職員を対象に、国際協力の理念・実務知識、事例紹介、語学研修等を通じて国際協力実務の向上を図ることを目的として実施している。

これまでは東京の国際協力総合研修所にて一括実施していたが、平成9年度からうち1回の実務課程を当センターで開催することとなった。

〔平成9・10年度自治体職員等国際協力実務研修受講実績〕

		期間（語学課程含む）	関西地域内所属機関	人数
平成9年度	第1回	平成9年5月19日～6月13日		0
	第2回	平成9年7月14日～8月8日		0
	第3回	平成9年8月25日～9月19日	大阪府（商工部、土木部）	2
			兵庫県知事公室国際局	1
			(財)太平洋人材交流センター	1
	●第4回	平成9年11月25日～12月19日	大阪府土木部他	3
			(財)太平洋人材交流センター	2
第5回	平成10年1月19日～2月13日	大阪府環境保健部	1	
		伊丹市総務部	1	
		(財)兵庫県国際交流協会	1	
平成10年度	第1回	平成10年5月25日～6月19日		0
	第2回	平成10年8月31日～9月25日	兵庫県知事公室国際局	1
	●第3回	平成10年11月9日～12月4日	大阪府産業開発研究所	1
	第4回	平成11年1月18日～2月12日	(財)京都府国際センター	1
(財)兵庫県国際交流協会			1	

※ ●印は実務課程を大阪国際センターで行い、全国から平成9年度については29名、平成10年度は20名の受講者が参加した。

〔平成9・10年度各自治体職員等研修への協力実績〕

	会 議 ・ 研 修	開 催 日	会 場	参加人数
平成9年度	兵庫県市町村国際交流 主管課長会議	平成9年4月30日	兵庫県農業共済会館	90名
	大阪府市町村職員・ 市町村国際交流団体職員研修	①平成9年6月13日 ②7月15・16日	①大阪府国際交流財団 ②JICA大阪国際センター	50名
	京都府地域国際活動 推進者研修	①平成9年12月15日 ②平成9年12月16日	①京都府国際センター ②京都府立中丹勤労者福祉会館	①30名 ②25名
平成10年度	兵庫県市町村国際交流 主管課長会議	平成10年5月13日	兵庫国際プラザ交流ホール	80名
	大阪府市町村職員・ 市町村国際交流団体職員研修	①平成10年9月7日 ②9月10・11日	①大阪府職員研修所 ②JICA大阪国際センター	32名
	京都府地域国際活動 推進者研修	①平成10年12月10日 ②平成10年12月11日	①京都府国際センター ②舞鶴21	①28名 ②15名

〔地方自治体職員等国際協力実務研修受講者実績（平成2年度～7年度）〕

	平成4年度まで				平成5年度				平成6年度				平成7年度			
	道府県	市町村	財団他	計	道府県	市町村	財団他	計	道府県	市町村	財団他	計	道府県	市町村	財団他	計
滋賀				0				0				0				0
京都	1			1				0	1			1				0
大阪	5		1	6	3	1		4	4		4	8	4		6	10
兵庫	7	1	2	10	4	1	2	7	2	1	2	5	6		2	8
奈良				0				0				0				0
和歌山				0				0				0				0
関西計	13	1	3	17	7	2	2	11	7	1	6	14	10	0	8	18
全国計	77	63	21	161	27	40	16	83	35	37	22	94	35	50	36	121

〔地方自治体職員等国際協力実務研修受講者実績（平成8年度～10年度）〕

	平成8年度				平成9年度				平成10年度				累 計			
	道府県	市町村	財団他	計	道府県	市町村	財団他	計	道府県	市町村	財団他	計	道府県	市町村	財団他	計
滋 賀				0				0				0				0
京 都				0				0			1	1	2		1	3
大 阪	4		2	6	6		3	9	4			4	30	1	16	47
兵 庫				0	1	1	1	3	1		2	3	21	4	11	36
奈 良	1			1				0				0	1			1
和歌山				0				0				0				0
関西計	5	0	2	7	7	1	4	12	5		3	8	54	5	28	87
全国計	32	64	31	127	35	58	29	122	18	30	30	78	259	342	185	786

(3) 各自治体等職員研修への協力

地方自治体との連携促進の一環として、自治体等における国際交流・協力の推進を目的として実施される職員研修への講師派遣、各種情報提供などの協力を行っている。

〔平成9年度各自治体職員等研修への協力実績〕

会 議 ・ 研 修	開 催 日	会 場	参加人数
兵庫県市町村国際交流主管課長会議	平成9年4月30日	兵庫県農業共済会館	90名
大阪府市町村職員・市町村国際交流団体職員研修	①平成9年6月13日 ②7月15・16日	①大阪府国際交流財団 ②JICA大阪国際センター	50名
京都府地域国際活動推進者研修	①平成9年12月15日 ②平成9年12月16日	①京都府国際センター ②京都府立中丹勤労者福祉会館	①30名 ②25名

〔平成10年度各自治体職員等研修への協力実績〕

会 議 ・ 研 修	開 催 日	会 場	参加人数
兵庫県市町村国際交流主管課長会議	平成10年5月13日	兵庫県国際プラザ交流ホール	80名
大阪府市町村職員・市町村国際交流団体職員研修	①平成10年9月7日 ②9月10・11日	①大阪府職員研修所 ②JICA大阪国際センター	32名
京都府地域国際活動推進者研修	①平成10年12月10日 ②平成10年12月11日	①京都府国際センター ②舞鶴21	①28名 ②15名

(4) 国際協力主管課長会議

JICAでは地方自治体との連携促進及び国民参加型国際協力の実施基盤拡充・強化を目的とし、全国の各ブロックにて地方自治体との連絡会議を促進している。

大阪国際センター管内では、関西2府4県と3政令指定都市を対象として国際協力主管課長会議を開催しており、平成9年度は兵庫県と神戸市の共催により実施した。

〔平成9年度国際協力主管課長会議概要〕

主 催	兵庫県、神戸市、JICA大阪国際センター		
開 催 日	平成10年1月28日(木)	参加人数	29名
会 場	六甲荘（公立学校共済組合神戸宿泊所）		
内 容	*講演「最近の開発論のトピックから一人間中心の開発とは何か」 講師：神戸大学大学院国際協力研究科 教授 西沢信善氏		
	*参加自治体からの事例報告 （各自治体が推進する国際協力・交流について）		
	*報告・意見交換 ・ODA、JICAを取り巻く現状と課題 ・JICAにおける連携強化の取り組み ・次年度開催県（奈良県）		

2. NGOとの連携

〔NGOとの連携による村落開発〕

平成10年度に本コースを開設した。主な内容は下記のとおり。

1. 研修期間

平成10年11月1日(日)～12月13日(日)

2. コース設立の背景

開発途上国の村落開発においては、地域住民を開発主体ととらえた住民参加型の村落開発プロジェクトが様々な形で試みられてきた。近年では、地域住民のニーズを熟知する現地NGO（National/Local）の存在が大きくクローズアップされており、海外ドナーをはじめいくつかの途上国政府においても、効果的な住民参加型プロジェクト実施のために「現地NGOとの連携」を重要なテーマに掲げている。

先進国NGO（International NGO）は、地域住民に対して直接働きかける従来の手法から、現地NGOを媒介とした間接的なプロジェクト実施方法を取りつつある。JICAにおいても、貧困対策、社会林業等の住民参加型村落開発プロジェクトが実施される中で、効果的な現地NGOとの連携のあり方が模索されており、今後も現地NGOとのさらなる連携強化が望まれている。一方現地NGOは、その役割を担う上で、プロジェクトの計画及び実施における住民組織化手法、プロジェクト運営管理ノウハウを必要としている。

3. 研修の目的

本研修コースでは、途上国で村落開発プロジェクトの計画立案に携わる現地NGOの指導者層を対象に、参加者がより持続的・効果的な参加型村落開発のための手法やアイデアを獲得して、自国でのプロジェクト運営に貢献することを主たる目的とする。

また、本邦NGOやODA関係者とのディスカッションや事例研修を通じて、政府、先進国ドナー、本邦及び国際NGO、現地NGOならびに地域コミュニティの役割を理解するとともに、それぞれの効果的な連携のあり方を探る。

4. 参加国、参加人数

1) バングラデシュ2名、2) カンボディア2名、3) ネパール2名、4) フィリピン2名、5) スリ・ランカ2名、6) タイ1名、合計11名。

なお、研修割当国は上記6ヶ国にラオスを加え、合計7ヶ国であった。

5. 事前調査

研修コースの設立に先立って、平成10年6月21日(日)～7月7日(火)にフィリピン及びネパールに事前調査団(特別案件調査団)を派遣した。

派遣の目的は下記のとおり。

- (1) 新規コース立ち上げに当たっての現地NGOの研修ニーズ把握
- (2) 他の先進国援助機関におけるNGOとの連携状況ヒアリング
- (3) JICAプロジェクトにおけるNGO連携事例の視察
- (4) 在外公館、相手国窓口機関等へのコース趣旨説明と意見聴取

6. 研修実施体制

(1) 実施体制概略

下記のメンバーにて構成される運営委員会を組織し、コース運営方針、カリキュラム概要を策定する。

- ・ 関西NGO協議会
- ・ JICA国際協力専門員(村落開発)
- ・ JICA大阪国際センター(委員事務)

(2) 研修委託機関

関西NGO協議会(関西NGO Council)

関西NGO協議会は、1987年6月、日本で最初のNGOの協議会として発足し、主として関西に活動拠点を置く国際協力、援助団体が相互に協議を深め、第三世界における貧困からの解放、社会正義の実現、人間の基本的ニーズを充足するための運動を発展させることを目的としている。この目的を実現するために、関西NGO大学の開催の他、NGO相互の情報交換、人材の育成、組織、財政の確立のための研究実践、協力活動の専門化のための調査・研究を進めている。

第2編－第6章 広報・啓発事業

第6章 広報・啓発事業

停滞する国内経済と厳しい財政状況のもと、ODAに対する国民の目は一層厳しくなっている。それゆえに、広報活動はODA・JICA事業の内容を国内外に知らせ、正しい理解と広範な支持を得るためにその重要性を一層増してきている。

JICAでは、マスコミを通じた積極的な情報提供のほか、各種刊行物の発行、イベントの開催など様々な広報活動を行っている。

大阪国際センターでは、地域との交流・関係団体との連携を重視し、市民と研修員との交流プログラムの実施やワン・ワールド・フェスティバルなどイベントへの参加を通じて、関西地域におけるJICA事業に対する理解を高め、ボランティア事業などへの幅広い国民参加の促進をはかっている。

1. 市民講座・国際交流・協力推進

(1) 国際協力キャンペーン

一般市民の国際協力の理解促進を目的として、毎年10月6月の「国際協力の日」を中心に、国際協力キャンペーンの一環として次の事業を実施した。

〔平成9年度「国際協力キャンペーン」実施実績〕

	開催日	行 事	場 所	共 催	参加人数	内 容
1	10月11日 ～12日	「97世界は ひとつ in 滋賀」	エルティ草津	滋賀県、(財)滋賀県国際友好親善協会、青年海外協力隊プラザ・淡海、青年海外協力隊滋賀県OB会	約4,200	「世界はひとつ」パネル展。JICA・青年海外協力隊の活動状況の紹介・帰国報告会の開催。国際理解講演会の開催。
2	10月19日	ワン・ワールド・フェスティバル'97	花博記念公園 鶴見緑地	ワン・ワールド・フェスティバル'97 実行委員会（主催）	約70,000	「あなたも協力しようよ、ひとつの世界をめざして」をテーマに、NGO、政府、企業などの活動紹介やワークショップの開催、民族料理の屋台など国際協力の祭典。
3	11月16日	「国際協力の日」フォーラム'97	じばさん但馬 (兵庫県豊岡市)	兵庫県、豊岡市、(財)兵庫県国際交流協会、豊岡市国際交流協会	約300	「地球規模の環境問題と国際協力」をテーマに講演・パネルディスカッションを実施（パネル展併設）。

〔平成10年度「国際協力キャンペーン」実施実績〕

	開催日	行 事	場 所	共 催	内 容
1	10月17日 ～18日	「世界はひとつin 滋賀」	大津市アヤハ レークサイド ホテル他	滋賀県、叻滋賀 県国際友好親善 協会	各団体のブースを設け、外国人カラ オケ大会やカンパセッション対面式、 写真交換会、活動報告会等を実施。
2	10月18日	ワンワールド・フェ スティバル	鶴見緑地公園	ワンワールド・ フェスティバル 事務局	「あなたも協力しようよ、ひとつの 世界をめざして」をテーマにNGO、 政府、企業などの国際協力関連の活 動紹介や、世界の歌や踊り、民族料 理の屋台などの祭典。
3	11月16日	「国際協力の日フォー ラム～絶滅の危機 に瀕する動物から のメッセージ」	じばさん但馬	兵庫県、豊岡市、 兵庫県国際交流 協会、豊岡市国 際交流協会	地球規模の環境問題と国際協力につ いて、基調講演の後、関係者による パネルディスカッションを実施。
4	3月14日	奈良県「国際協力 の広場」	大和郡山市三 の丸会館	奈良県JICA派遣 専門家連絡会、 JOCA	「わたしたちにできる国際協力」を テーマに、学生を対象に各国クイズ、 ゲーム料理体験や、歌やダンス、人 形劇を実施。

(2) 国際協力市民講座

シンポジウム、講演会などを通じて参加者の国際協力に対する理解をより深め、今後の支援、協力を得ていくことを目的として実施するもので、平成9年度は読売新聞大阪本社他との共催による「国際協力ひろば」など次の行事を実施した。

〔平成9年度「国際協力ひろば」実施実績〕

	開催日	タ イ ト ル	場 所	参加人数	内 容
1	5月31日	「開発と女性」	千里・よみう り文化センター	約300	21世紀に向けて、アジアを中心とする開発途 上国において女性が自立し、開発プログラム に参画していくために、どのような援助・協 力が私たちに求められているのかを考える。
2	8月4日	「高校生が考える 国際協力」	読売大阪ビル 「ギャラリーよ みうり」	約100	関西・四国の高校生が国際協力でのそれぞ れの取り組みについて発表・討論を行った。
3	10月4日	「戦禍と貧困の中 の子どもたち」	高槻市立総合 市民交流セン ター	約150	開発途上国における地域紛争、貧困、飢餓な どで脅かされている子どもの生命と人権に対 し、日本人として何ができるか、何をすべき かを考える。
4	1月31日	「被災地支援とボ ランティア」	芦屋・ラボル テホール	約250	阪神大震災での支援活動を契機に、わが国に根 付き始めたボランティア意識・活動を、今後、 国内外でどう生かしてゆくべきかを考える。

〔平成10年度「国際協力ひろば」実施実績〕

	開催日	タイトル	場所	内容
1	6月27日	「わたしにもできる国際協力」	和泉市コミュニティセンター	様々な立場から開発途上国と関わってきた講師、パネリストのディスカッションを通して、わたしたちひとりひとりに何ができるかを考える。
2	8月6日	「高校生は考える」	ギャラリーよみうり	高校生を対象に、国際協力に対する意見発表、ゲーム(ワークショップ)、討論などを実施。
3	10月17日	「緑を守る、緑を育てる」	八尾市文化会館	地球上から緑が急速に失われている現状に対し、世界の森林を守り、育てるために、日本政府やNGOが取り組んでいる緑化・植林の活動について基調講演、パネルディスカッションを実施。
4	2月27日	「芸能文化で世界をつなぐ」	南大阪地域市場産業振興センター	パネリストにミュージシャンを招き、多様な民族がお互いを理解し尊重しあえるよう、文化を通しての国際交流、文化を守るための国際協力について講演会を実施。

共催：読売新聞大阪本社、読売テレビ、(財)国際ボランティア貯金普及協会、(財)大阪府国際交流財団他
 後援：近畿郵政局、関西NGO協議会

〔平成9年度「国際理解講座」実施実績〕

	開催日	行事	場所	共催	参加人数	内容
1	2月18日 / 3月18日 (5回)	国際理解講座「地球NOW '97」	(財)京都府国際センター	(財)京都府国際センター	各80	「紛争から世界を観る」と題して、各地域における紛争の要因をもとに、世界の多様さについて考える。
2	3月21日	21世紀のボランティア社会に向けて	神戸国際会議場	(財)兵庫県国際交流協会、(財)神戸国際交流協会、青年海外協力隊兵庫県OB会	約250	開発途上国の国づくり、人づくりにおける国際ボランティア活動について、今後のあり方を考える。

2. 開発教育支援

昨今の学校教育の現場における、国際理解教育の活発化、開発教育への市民、学校関係者の理解の深まりから、JICAでも開発教育支援を事業の一つとするようになった。

大阪国際センターでも、平成10年度から集団型研修コースの一部に「自主研修日」を設定し、学校から生徒（児童）等と海外研修員との交流の希望に対応するようになった。

また、学校関係者の大阪国際センター訪問を随時受け付けている。

(1) 開発教育支援実績

〔平成9年度開発教育支援実績〕

No.	日時	プログラム名	主催団体 依頼団体	会場	研修員 人数	市民/ 生徒人数	備考 (関係研修コース)
1	6月7日(土)	川西青少年センターとの 妙見山バーベキュー大会	川西市青少年 センター	妙見山クッキング センター（兵 庫県川西市）	10	17	
2	7月19日(土)	奈良市立一条高等学校 「外国人・留学生と交歓 の集い」	奈良市立一条 高等学校英語 国際活動部、 奈良市教育委 員会、奈良市 子ども会育成 連絡協議会	奈良市立一条 高等学校、奈 良公園他（奈 良市）	30	27	～7/20まで 1泊2日
3	9月28日(日)	豊川小学校運動会 (ロシアのフォークダンス)	箕面市立豊川 南小学校	箕面市立豊川 南小学校グラ ウンド	10	9	
4	11月9日(日)	箕面市立萱野東小学校区 子ども会の交流会	箕面市立萱野 東小学校校区 子ども会	箕面市立萱野 東小学校	5	8	
5	11月15日(土)	JAPANESE FRIENDSHIP FESTIVAL	猪名川町立六 瀬中学校（兵 庫県）	猪名川町立六 瀬中学校（兵 庫県）	15	11	3年度連続招待
6	12月6日(土)	茨木市立天王小学校こど も会との交流会	茨木市立天王 小学校子ども会	茨木市天王小 学校体育館	10	2	
7	2月11日(水)	箕面市立豊川南小学校区 子ども会との国際交流会	箕面市立豊川 南小学校区こ ども会	OSIC講堂	10		
8	2月21日(土)	茨城市立水尾小学校との 国際交流	茨城市立水尾 小学校	同左	特になし		

〔平成10年度開発教育支援実績〕

No.	日時	プログラム名	主催団体 依頼団体	会場	研修員 人数	市民/ 生徒人数	備考 (関係研修コース)
1	4月23日(木)	富来町立富来中学校(石川県)修学旅行・教員生徒一行来訪	—	JICA大阪国際センター	2	139	中学3年生139名が来訪
2	4月28日(火)	茨木市立豊川中学校への日墨交流計画研修員の訪問	—	茨木市立豊川中学校	28		日墨交流研修員28名が参加
3	5月18日(月)	「青年海外協力隊活動報告」(ODAプロジェクト講座第2回)	立命館大学理工学部(滋賀県草津市)	立命館大学理工学部(滋賀県草津市)	—	80	勝本哲也国内協力員が講師 対象は4回生
4	5月31日(日)	国際協力セミナー	アイセック京都大学委員会	京都学生研修会館		50	辻国内協力員がパネリスト
5	6月17日(木)	大阪府立北千里高等学校への研修員の訪問	—	大阪府立北千里高等学校	5		「国際知的財産権」研修員5名
6	6月17日(木)	茨木市立豊川中学校への研修員の訪問・総合学習参加	—	茨木市立豊川中学校	5		「国際知的財産権」研修員5名
7	6月24日(木)	大阪府立松原高等学校・教員生徒一行来訪	—	JICA大阪国際センター	10		日本語講習受講研修員との懇談を実施
8	6月30日(火)	青年海外協力隊の活動と体験(国際ボランティア入門講座)	大阪市立弁天町市民学習センター	大阪市立弁天町市民学習センター	—	25	茂木和美國内協力員が講師
9	7月8日(木)	茨木市立豊川中学校・教員生徒一行来訪	—	JICA大阪国際センター			
10	7月9日(木)	茨木市立西小学校への研修員の訪問	—	茨木市立西小学校	9		「国際認識セミナー」
11	7月15日(木)	京都市立日吉が丘高等学校・教員生徒一行来訪	—	JICA大阪国際センター	10	40	協力員の説明、「国際知的財産権」
12	7月18日(土)	奈良公園ツアーと合宿	奈良市立一条高等学校英語国際活動部	奈良公園	26		下記のプログラムとペア
13	7月19日(日)	外国人・留学生と交歓の集い 第20回外国のお友達と遊ぼう	奈良市教育委員会、奈良市子ども会育成連絡協議会、奈良市立一条高等学校英語国際活動部	奈良市立一条高等学校	26		上記のプログラムとペア
14	7月30日(木)	松原市立布忍小学校・子供会一行来訪	—	JICA大阪国際センター	2	13	日本語受講研修員2名及び国内協力員との懇談。教員等3人、児童10人
15	8月1日(土)	奈良県青年海外協力協会—21世紀青少年セミナー	奈良県青年海外協力協会		2		タンザニア研修員2名参加、ホームステイも8/2まで実施
16	8月3日(月)	国際学生会議一行第1陣来訪	—	JICA大阪国際センター	7		若手職員、国内協力員及び「農業生産のための遺伝子操作技術」

No.	日時	プログラム名	主催団体 依頼団体	会場	研修員 人数	市民/ 生徒人数	備考 (関係研修コース)
17	8月7日(金)	国際学生会議一行第2陣 来訪	-	JICA大阪国際 センター	6		若手職員、国内 協力員及び「ワ クチン品質管理 技術」
18	8月5日(木)	高校生国際協力実体験プ ログラム			20	34	～8/7(金) 生徒28人 教員6人
19	8月6日(木)	富田林市立長志中学校職 員夏期研修	富田林市立長 志中学校	アウィーナ大阪	-		次長の講演
20	8月20日(木)	紀州っ子遊びのくに	和歌山県青少年 課企画少年班	和歌山県立白崎 少年自然の家	16		～8/21(金)
21	8月29日(土)	京都府立園部高等学校・ 教員生徒一行来訪		JICA大阪国際 センター	-	9	国際夏祭りにボ ランティア参加
22	8月31日(月)	茨木市立西小学校・教員 一行来訪	-	JICA大阪国際 センター	11	13	日本語受講中 「都市緑化：4人」 「配電システム： 6人」及び個別 タイ：1人
23	9月3日(木)	茨木市立穂積小学校・教 員一行来訪	-	JICA大阪国際 センター	8	21	「大気汚染対策」 「青果物流通」
24	9月3日(木)	高槻市立第3中学校・生 徒4名来訪（職業インタ ビュー）	-	JICA大阪国際 センター	1	4	タイ研修員1人 との懇談
25	9月4日(金)	「国際貢献と平和」	富田林市立喜 志中学校	富田林市立市 民会館		480	ザンビア自動車 整備OB砂田雅 則氏が講演。喜 志中全生徒480が 参加
26	9月4日(金)	国際理解講座「問いかけ てみよう地球の今を一開 発途上国の現状、アフリ カの人々の生活」	枚方市国際交 流協会	メセナひらかた	-	50	大角国際協力推 進員、野村国内 協力員が講師
27	9月26日(土)	大阪府立福井高等学校文 化祭・研修員講師派遣	大阪府立福井 高等学校	同左	1		Macedonia 国研修員 Mr.Gordan NIKOLOV
28	9月30日(木)	大阪府立福井高等学校・ 教員生徒来訪	-	JICA大阪国際 センター	9	7	「O A化推進」
29	10月1日(木)	静岡県立静岡中央高等学 校修学旅行・生徒4名来 訪学習	-	JICA大阪国際 センター	-	4	研修員日本語講 習を見学
30	10月7日(木)	大阪府立農芸高等学校へ の研修員の訪問	大阪府立農芸 高等学校	大阪府立農芸 高等学校（大 阪府美原町）	7	100	「施設園芸」研修 員の参加。生徒 は約96人以上参 加。
31	10月7日(木)	虹からの出発「壁とりは らって、夢」事前研修会 I（研修員の訪問）	高槻市教育委 員会、同市立 城南中学校、 若松小学校、 西大冠小学校	高槻市立若松 小学校及び高 槻市立西大冠 小学校	12	100	「口腔顎顔面放射 線診療：5人」 「ケニア輸出振興： 7人」小6児童 は両校併せて約 100人

No.	日時	プログラム名	主催団体 依頼団体	会場	研修員 人数	市民/ 生徒人数	備考 (関係研修コース)
32	10月15日(木)	門真市立浜町小学校への 研修員の訪問	—	門真市立浜町 小学校	14		日本語受講研修 員の参加。3・ 4年生併せて80 人強の参加。
33	10月19日(月)	松原市立布忍小学校・教 員児童の来訪「進路学習 フィールド・ワーク」	—	JICA大阪国際 センター	3	4	日本語受講研修 員と野村協力員 との懇談も実施
34	10月20日(火)	青年招へいネパール理数 科教員団の小林聖心女子 学院訪問	JICA大阪国際 センター	小林聖心女子 学院(兵庫県 宝塚市)	10		青年招へい第15 陣の特別プログ ラム
35	10月21日(水)	虹からの出発「壁とりは らって、夢」事前研修会 Ⅱ(研修員の訪問)	高槻市教育委 員会、同市立 城南中学校、 若松小学校、 西大冠小学校	高槻市立城南 中学校	14		「都市緑化推進： 4人」「口腔顎顔 面放射線治療： 5人」研修員
36	10月22日(木)	大阪府高等学校社会科研 究会一行来訪		JICA大阪国際 センター	10	31	「太陽光発電：5 人」「無機材料工 学：5人」
37	11月4日(火)	大阪府立福井高等学校教 員生徒来訪	—	JICA大阪国際 センター	3		「建設施工Ⅱ」
38	11月7日(土)	虹からの出発「壁とりは らって、夢」研究発表会	高槻市教育委 員会、同市立 城南中学校、 若松小学校	高槻市立城南 中学校	14		
39	11月14日(土)	98チャレンジ国際inみし まー世界の国からこんに ちはー	大阪府教育委 員会(三島教 育振興センター、 大阪府立茨木 高等学校)他	大阪府立茨木 高等学校	16		
40	11月18日(火)	大阪府立福井高等学校教 員生徒来訪	—	JICA大阪国際 センター			「農業生産のため の遺伝子操作技術」
41	11月19日(水)	茨木市立西小学校「世界 のことを知ろう」	—	JICA大阪国際 センター		30	「施設園芸技術」
42	11月20日(金)	大阪大学人間科学部ボラ ンティア学科学生来訪	—	JICA大阪国際 センター	7	13	日本語受講研修 員7名
43	11月21日(土)	猪名川町立六瀬中学校 「国際交流大会」&ホー ムステイ	猪名川町立六 瀬中学校	猪名川町立六 瀬中学校	16		～11/22日
44	11月25日(火)	茨木市立西小学校「世界 のことを知ろう」2	—	JICA大阪国際 センター	3	6	日本語受講トル コ研修員3名
45	11月27日(金)	高槻市立第九中学校生徒 来訪	—	JICA大阪国際 センター	7	26	日本語受講研修 員7名
46	12月1日(火)	茨木市立西小学校職員研 修出席	茨木市立西小 学校	茨木市立西小 学校	—	—	白井職員、堀井 研修員が出席
47	12月2日(水)	茨木市立白川小学校・教 員児童一行来訪「研修員 と遊ぼう」	—	JICA大阪国際 センター			「口腔顎顔面放射 線診療」「農業生 産のための遺伝 子操作技術」コース

No.	日時	プログラム名	主催団体 依頼団体	会場	研修員 人数	市民/ 生徒人数	備考 (関係研修コース)
48	12月2日(木)	茨木市立豊川小学校教員・児童一行来訪(研修員とのインタビュー)	—	JICA大阪国際センター			「口腔顎」ブラジル1名、「農業遺産」エジプト1名
49	12月8日(火)	奈良県高等学校国際教育研究協議会一行来訪	奈良県高等学校国際教育研究協議会	JICA大阪国際センター	5		日本語集中講習受講者5名
50	12月22日(火)	茨木市立西小学校児童・茨木市立養精中学校生徒来セン	茨木市立西小学校	JICA大阪国際センター			
51	1月8日(金)	神戸大学大学院国際協力研究科生来セン	JICA大阪国際センター	JICA大阪国際センター	14	6	「口腔顎顔面放射線診療」「メカトロニクス」
52	2月1日(月)	高槻市立寿栄小学校第1学年訪問	—	高槻市立寿栄小学校			「エチオピア市場経済管理」コースの公式研修として実施
53	2月4日(木)	大阪府立千里高等学校「講師派遣」	大阪府立千里高等学校	大阪府立千里高等学校	1		帰国隊員4名
54	2月5日(金)	京都府立商業高等学校国際経済科生徒来訪	—	JICA大阪国際センター		40	
55	2月15日(月)	大阪府立福井高等学校生徒来訪		JICA大阪国際センター			日本語講習受講者
56	2月18日(木)	茨木市立東雲中学校への研修員訪問	—	茨木市立東雲中学校	10		「文化財修復整備」「標準化品質システム」「コンクリート」
57	2月25日(木)	吹田市立千里丘中学校への研修員訪問	吹田市立千里丘中学校	吹田市立千里丘中学校	16		「投資環境法整備」コース研修員
58	2月26日(金)	茨木市立天王小学校への研修員の訪問	茨木市立天王小学校	茨木市立天王小学校	6		「食用動物疾病の診断技術」コース研修
59	3月6日(土)	茨木市立沢池小学校への研修員の訪問	茨木市立沢池小学校	茨木市立沢池小学校	3		
60	3月18日(木)	兵庫県立芦屋南高等学校国際文化科 国際理解講座	兵庫県立芦屋南高等学校	兵庫県立芦屋南高等学校(芦屋市)		120	白井、3国内協力員
61	3月18日(木)	高槻市外国人教育研究協議会定例会	高槻市外国人教育研究協議会	高槻市外国人教育研究協議会(高槻市)		40	白井、堀井による講演

(2) 中学生エッセイコンテスト

〔平成9年度中学生エッセイコンテスト実績（関西地域分）〕

作品募集期間：平成9年7月1日～1月14日

応募数：1,307

入 賞 者						
賞区分	氏名	学 校 名	学年	性別	作 品 題 名	
準特選	石井由美子	豊中市立第九中学校	2	女	違いを認めて	
準特選	中川 良太	栗東町立栗東西中学校	3	男	空き缶ひろいの始まった日	
審特賞	菊本 祐子	香芝市立香芝中学校	1	女	理想の世界に	
本 部 表 彰	入 選	伊之口麻衣	栗東町立栗東西中学校	3	女	国際化とは何か
		上谷 理恵	関西創価中学校	3	女	“しあわせ”ということ
		中野真理子	大阪薫英女子学院中学校	1	女	私ができるボランティア貯金から～
		原出 紗甫	御防市立河南中学校	3	女	身近なものから
		小泉 夏紀	吉野町立吉野中学校	2	女	ジブシーの人々を見て思った事
大 阪 国 際 セ ン タ ー	所長賞	西本 香織	栗東町立栗東西中学校	3	女	世界の子供達から考えること
		小林 恵子	向日市立勝山中学校	1	女	これからの日本
		出野由美子	綾部市立東綾中学校	3	女	国際協力について思うこと
		藤田 愛子	豊中市立第十一中学校	2	女	在日外国人へのおもいやり
		永井 知子	豊中市立第十一中学校	2	女	在日朝鮮韓国人
		西村 英久	私立清風中学校	3	男	うらやましいアフリカの子供達が
		柏原 広美	加西市立北条中学校	2	女	地球と人間、もっとなかよく
		増田 貴之	猪名川町立中谷中学校	1	男	マレーシアで教えてもらった
		大泉 栄	生駒市立生駒北中学校	3	女	カナダで考えた
J O C A	会長賞	奥村 幸子	滋賀大学教育学部附属中学校	3	女	開発途上国について考えること
		赤澤 渚	京都市立神川中学校	2	女	本当の幸せとは
		赤堀 智子	豊中市立第十一中学校	2	女	私が出会った人
		矢野 脩也	和歌山市立西和中学校	2	男	一冊の本に出会って
学 校 賞	府 県	学 校 名			応 募 生 徒 数	
	京都府	京都府城陽市立城陽中学校			7 8	
	大阪府	大阪府豊中市立第十一中学校			1 1 8	
	大阪府	(私立) 清風中学校			2 2 8	
	大阪府	(私立) 創価中学校			5 3	
	兵庫県	兵庫県伊丹市立松崎中学校			1 8 2	
	兵庫県	兵庫県猪名川町立中谷中学校			1 5 3	
	奈良県	奈良県香芝市立香芝中学校			3 2 7	

〔平成10年度中学生エッセイコンテスト実績（関西地域分）〕

作品募集期間：平成10年7月1日～10月15日

応募数：1,845

入 賞 者						
賞区分	氏 名	学 校 名	学 年	性 別	作 品 題 名	
特 選	岡 由佳	豊中市立第十一中学校	1	女	国際協力について考えること	
審特賞	酒井 布喜	王子町立王子中学校	2	女	ちがいを超えて	
本 部 表 彰	入 選	宝来 彩	舞鶴市立岡田中学校	3	女	ウガンダから学んだこと
		尾賀真理子	栗東町立栗東西中学校	3	女	国際という意味
		久保江里子	大津市立打出中学校	3	女	国境を越えて
		新見 愛	清教学園中学校	1	女	アンドレアから学んだこと
		鳥崎 勝	伊丹市立松崎中学校	3	男	ボランティア
		北澤 玲子	神戸市立神戸生田中学校	3	女	世界との結びつき
		樋口 未央	綾部市立東綾中学校	2	女	アフリカは今
大 阪 国 際 セ ン タ ー 表 彰	所長賞	渡辺つかさ	綾部市立八田中学校	3	女	私が感じたボランティア
		藤田 知里	和知町立和知中学校	3	女	世界はひろい
		竹村 真弓	栗東町立栗東西中学校	2	女	ボランティア活動から見たもの
		小迫 大介	大津市立瀬田北中学校	2	男	子供達の笑顔に会うために
		河口 祐子	大津市立瀬田北中学校	2	女	生きる
		権並 喜彦	八日市市立聖徳中学校	1	男	今日から僕は国際人
		史 融	吹田市立豊津西中学校	1	女	心をひろくもとう
		三上 亜弥	豊中市立第十一中学校	3	女	身近なことから変えていこう
		森下 昌栄	月ヶ瀬村立月ヶ瀬中学校	2	女	海の向う
		本間 繭	御所市立御所中学校	3	女	ボランティアとは
		中尾衣利子	桜井市立大三輪中学校	1	女	ピースバックを送って
		遠藤 佳奈	平群町立平群中学校	3	女	私たちにできること
		大嶋 佐知	猪名川町立中谷中学校	2	女	Peace Pack
		南 智子	海南市立第一中学校	2	女	今の国際化の中で
J O C A	会長賞	金澤 洋俊	洛南高校附属中学校	1	男	発展途上国に対する援助
		竹内 千草	栗東町立栗東西中学校	3	女	女性の当たり前とは
		村岡 真梨	平群町立平群中学校	3	女	「青年海外協力隊」を訪れて
		西尾 舞佳	伊丹市立松崎中学校	3	女	自分のできること考えて
		谷口ゆう子	浜坂町立浜坂中学校	2	女	私でもできることは
		坂本 麻美	御坊市立河南中学校	3	女	平和について
		里森 裕	御坊市立河南中学校	3	女	ある日の出来事から

学 校 賞	府 県	学 校 名	応 募 生 徒 数
	滋賀県	栗東町立栗東西中学校	149
	京都府	洛南高等学校附属中学校	39
	大阪府	豊中市立豊中第十一中学校	275
	大阪府	関西創価中学校	44
	大阪府	伊丹市立松崎中学校	225
	兵庫県	猪名川町立中谷中学校	149
	奈良県	黒滝村立黒滝中学校	37
	奈良県	香芝市立香芝中学校	199
	奈良県	御所市立御所中学校	98
	奈良県	平群町立平群中学校	50
	奈良県	橿原市立八木中学校	46

(3) 高校生エッセイコンテスト

〔平成9年度高校生エッセイコンテスト実績（関西地域分）〕

作品募集期間：平成9年7月1日～1月14日

応募数：2,182

入 賞 者						
賞区分	氏 名	学 校 名	学 年	性 別	作 品 題 名	
準特選	木場 紗綾	同志社高等学校	2	女	途上国の子供達の「笑顔」	
準特選	有本 恵	兵庫県香寺高等学校	3	女	日本に生きる私	
優秀賞	松岡 朋香	関西創価高等学校	3	女	いっしょに生きよう	
本 部 表 彰	入 選	山本久美子	大阪府立福井高等学校	3	女	私にできること
	松岡 利恵	兵庫県立北摂三田高等学校	2	女	ボン・ジア	
	石橋 幸恵	初芝高等学校	2	女	国際協力について考えること	
	永井 陽子	兵庫県立芦屋南高等学校	1	女	「つながり」を持つために	
	廣永 優一	大阪府立長尾高等学校	2	男	身近なところの国際協力	
	橋本真佐子	京都女子高等学校	2	女	明日のために私ができること	
	菱木 雅章	奈良県立奈良高等学校	3	男	「ベトナム」と共に生きる	
	直原 るみ	兵庫県立北摂三田高等学校	2	女	生きるということ	
	速水亜紗子	和歌山県立那賀高等学校	2	女	幸福であること	
	岩川 絵美	兵庫県立尼崎稲園高等学校	1	女	私達にできる国際協力	
	橋本 大介	兵庫県立尼崎稲園高等学校	1	男	私達にできる国際協力	
	林田久美子	大阪府立農芸高等学校	2	女	私が描く援助の形	
	濱本 幸子	大阪市立扇町高等学校	2	女	国際協力を考える	
	小牧 紫乃	大阪女学院高等学校	2	女	開発途上国にあって日本にないもの	
	山本ひとみ	京都府立網野高等学校	3	女	私達とアフリカ	
	福田 紘子	兵庫県立北摂三田高等学校	2	女	国際協力とは	
	後久 千絵	京都西高等学校	3	女	笑顔がみたい	
	中島 民樹	神港学園神港高等学校	2	男	国際協力について考えたこと	
	石井 有香	奈良県立高円高等学校	1	女	できることから	
	高代 裕香	奈良県立橿原高等学校	2	女	韓国研修を通して現代を考える	
大阪国際センター	所長賞(特)	松岡 利恵	兵庫県立北摂三田高等学校	2	女	ボン・ジア
	(特)	永井 陽子	兵庫県立芦屋南高等学校	1	女	「つながり」を持つために
	(特)	石井 有香	奈良県立高円高等学校	1	女	できることから
	(特)	速水亜紗子	和歌山県立那賀高等学校	2	女	幸福であること
	浜面 悠子	小林聖心女子学院高等学校	2	女	真の国際協力とは	
	池本 暖香	兵庫県立加古川南高等学校	1	女	「豊かさ」の独り占めは許されない	
	野上 咲葉	奈良県立高円高等学校	1	女	「世界の目標」	
	森 せり	兵庫県立宝塚高等学校	3	女	開発途上国・国際援助について考えること	

賞 区 分	府 県	学 校 名	応 募 生 徒 数
特別学校賞	兵庫県	兵庫県立芦屋南高等学校	101
学 校 賞	奈良県	奈良県立高円高等学校	460
	兵庫県	兵庫県立北摂三田高等学校	389
	兵庫県	兵庫県加古川南高等学校	356
	兵庫県	兵庫県尼崎稲園高等学校	160
	兵庫県	兵庫県香寺高等学校	101
	兵庫県	兵庫県立宝塚東高等学校	171
	兵庫県	兵庫県芦屋南高等学校	101
	和歌山県	和歌山県立那賀高等学校	112
	兵庫県	小林聖心女学院高等学校	94
	大阪府	大阪府立農芸高等学校	74
	大阪府	大阪府立長尾高等学校	61

〔平成10年度高校生エッセイコンテスト実績（関西地域分）〕

作品募集期間：平成10年1月26日～5月11日

応募数：1,761

入 賞 者						
賞区分	氏 名	学 校 名	学 年	性 別	作 品 題 名	
審特賞	杉本 純子	小林聖心女子学院高等学校	3	女	開発途上国に立って	
本 部 表 彰	入 選	小西 伸代	滋賀県立国際情報高等学校	2	女	今の私達と途上国の子供達
	山本佐知子	滋賀県立国際情報高等学校	2	女	青年海外協力隊員の話聞いて	
	木場 紗綾	同志社高等学校	3	女	子どもの夢	
	勝谷 佳美	大阪府立長尾高等学校	3	女	小さな国際協力	
	金野 香織	大阪府立福井高等学校	2	女	私を変えた学園	
	戴 珞	大阪府立松原高等学校	3	男	二つの国に生きて	
	長谷川律子	兵庫県立尼崎稲園高等学校	1	女	途上国や国際協力についてかん	
	出口 理代	兵庫県加古川南高等学校	2	女	背空はみんなの家	
	松本 真美	兵庫県加古川南高等学校	2	女	国境を越えてつないだ手	
	福富 早紀	兵庫県立芦屋南高等学校	1	女	21世紀の国際社会	
	武田 義史	六甲高等学校	2	男	本当の援助	
	高山 郁	小林聖心女子学院高等学校	3	女	わたしが出会った途上国の人	
	横山 紗恵	小林聖心女子学院高等学校	3	女	私の協力	
	加藤 祥子	小林聖心女子学院高等学校	3	女	私に必要なこと	
	永山久美子	奈良県立高円高等学校	3	女	やがてどこかの誰かの為に	
	甲斐 展代	奈良県立高円高等学校	2	女	ムンさんから学んだこと	
	倉田 浩之	奈良県立高円高等学校	2	男	社会で生き学ぶこと	
真武 琴絵	天理教校親里高等学校	3	女	小さなことから始めよう		
大 阪 国 際 セ ン タ ー	所長賞	藤原 伸行	兵庫県立稲園高等学校	1	男	発展途上国の援助について
	才原由佳理	兵庫県立加古川南高等学校	2	女	国際協力について	
	藤田 明子	兵庫県立加古川南高等学校	2	女	一生懸命生き抜く人々	
	津島 恭子	兵庫県立加古川南高等学校	2	女	世界中の夢	
	有馬久仁子	兵庫県立芦屋南高等学校	1	女	国際協力を考えて	
	田邊亜希子	兵庫県立芦屋南高等学校	1	女	助け合う喜び	
	藤田麻里花	小林聖心女子学院高等学校	3	女	環境問題から見た日本と途上国	
	村-フランス真野	小林聖心女子学院高等学校	3	女	わたしにできる国際協力	
	小幡 祐子	小林聖心女子学院高等学校	3	女	本当の意味での国際協力とは	

賞区分	府県	学校名	応募生徒数
特別学校賞	奈良県	奈良県立高円高等学校	655
学校賞	大阪府	大阪府立農芸高等学校	142
	大阪府	大阪府立長尾高等学校	76
	兵庫県	兵庫県立加古川南高等学校	344
	兵庫県	兵庫県立稲園学園高等学校	159
	兵庫県	兵庫県立芦屋南高等学校	121
	兵庫県	小林聖心女子学院高等学校	90

(4) 中学・高校教師海外研修

開発教育の推進支援の一環として、中学校や高校での開発教育を実践してもらうために、指導者である教師の国際協力についての理解を深めてもらうことを目的に中学・高校教師を海外の国際協力事業の実施現場へ派遣して研修をしてもらった。大阪国際センターでは募集広報、応募の受け付け、書類選考、管内の参加者への事前研修を担当した。

〔平成9年度中学教師海外研修実績（関西地域分）〕

	府県	人数	所属校	担当教科	研修国
応募者	大阪府	2			
	兵庫県	4			
研修参加者	兵庫県	1	伊丹市立松崎中学校	理科	ジンバブエ
	大阪府	1	関西創価中学校	社会科	
	研修期間			研修場所	
事前研修	平成9年7月22日～7月23日			JICA東京国際研修センター	
海外研修	平成9年7月24日～8月3日			ジンバブエ	

〔平成9年度高校教師海外研修実績（関西地域分）〕

	府県	人数	所属校	担当教科	研修国
応募者	奈良県	2			
	大阪府	2			
	兵庫県	5			
研修参加者	兵庫県	2	神戸女学院高校	社会科	パキスタン
			兵庫県立兵庫工業高校	保健体育	ヴェトナム
	研修期間			研修場所	
国内機関研修	平成9年7月11日			JICA大阪国際センター	
事前研修	平成9年7月28日～7月29日			JICA東京国際研修センター	
海外研修	平成9年7月30日～8月10日			パキスタン、ヴェトナム	

〔平成10年度中学教師海外研修実績（関西地域分）〕

	府 県	人 数	所 属 校	担当教科	研 修 国
応 募 者	滋賀県	3			
	京都府	2			
	大阪府	8			
	兵庫県	10			
	奈良県	2			
	和歌山県	1			
研修参加者	滋賀県	1	栗東町立栗東西中学校	英語	バングラディッシュ
	京都府	1	京都市立藤森中学校	家庭科	
	大阪府	2	豊中市立第十一中学校	国語	
			大阪市立立正東中学校	英語	
	兵庫県	2	尼崎市立日新中学校	理科	
			神戸市立上野中学校	社会	
和歌山県	1	月ヶ瀬村立月ヶ瀬中学校	英語		
	研 修 期 間			研 修 場 所	
事前研修	平成10年7月21日～7月22日			JICA東京国際研修センター	
海外研修	平成10年7月23日～8月2日			バングラディッシュ	

〔平成10年度高校教師海外研修実績（関西地域分）〕

	府 県	人 数	所 属 校	担当教科	研 修 国
応 募 者	滋賀県	2			
	京都府	3			
	大阪府	2			
	兵庫県	4			
	奈良県				
研修参加者	京都府	2	京都府立園部高校	政経	メキシコ・エルサルバドル
			京都府立八幡高校	英語	
	奈良県	1	奈良県立郡山高校	地歴・公民	
	兵庫県	2	兵庫県立相生高校	英語	
			私立報徳学園高校	英語	
大阪府	1	私立此花学院高校	社会		
	研 修 期 間			研 修 場 所	
事前研修	平成10年7月28日～7月29日			JICA東京国際研修センター	
海外研修	平成10年7月30日～8月10日			メキシコ, エルサルバドル	

(5) インターンシップ

開発援助分野を研究し、将来援助人材として有望な大学院生に対し、当事業団在外事務所、国内センター、本部等での実習の機会を提供することで援助の実態に関する理解を深めせしめ、将来の援助人材の育成に寄与するとともに、国際協力の理解者を拡大することを目的に、平成9年度に本制度を開始した。

平成9年度については当センターへの希望者はなく、平成10年度実績は以下のとおり。

	人数	応募者所属大学及び研究学科		
当センターへの応募者	11	早稲田大学アジア太平洋研究科 同志社大学総合政策科学研究科 神戸大学国際協力研究科 大阪大学国際公共政策研究科4名 大阪大学工学研究科 京都大学人間・環境学研究科 京都大学工学研究科 立命館大学国際関係研究科		
	性別	専門分野	当センターの実習内容	期間
インターンシップ参加者	男	国際協力	大阪国際センター実施研修コースへの参加、評価会、反省会等会議への参加、研修コース関係者へのインタビューの実施	平成10年7月16日～8月25日
	女	環境技術の移転		平成10年7月16日～9月4日
センター対応内容	センターでの研修実施業務の多くを占める手続き業務の体験より、センターを初め研修の実施を支える機関での知識の体得、インタビューの実施、研修会の参加の体験により書物では得られない研修事業の実態を把握、理解することにより実習生の教育に役立つカリキュラムを設定した。			

3. 国際協力情報の提供サービス

(1) 図書資料室

当センターの多機能化を論ずる際には、「情報提供機能」の場として、図書資料室の存在が重要である。平成10年度末時点蔵書数は、9,000冊である。

今後、更に書籍（CD-ROM、ビデオを含む）の購入をはかり、研修事業関係者、そして一般市民に対する情報提供機能の充実をはかることとしている。

特に、青年海外協力隊の春・秋募集期間中は市民の利用も多い。

(2) JICAギャラリー

JICAギャラリーは、関西地域におけるJICA広報スペースとして、大阪ワールドトレードセンタービル（WTCコスモタワー）51階に開設しており、JICA事業の広報の場にとどまらず、地域の国際化を推進するため、自治体やNGOなど国際協力関係団体との新たな活動スペースとなるよう活用を図り、市民参加型のギャラリーとして「だれもが地球市民であることを実感できる場」を目指している。また、運営にあたっては、WTC、自治体、NGOなどの関係者によって構成される運営企画検討委員会を設置し、企画展の立案や運営方法の検討を行っている。

ギャラリーでは、常設展としてJICA事業紹介パネルや青年海外協力隊活動写真パネルなどを展示しているほか、平成9年度・平成10年度は次の企画展を実施した。

〈平成9年度〉

(第2回企画展)

「モロッコ紀行(ベルベル族)写真展～モロッコの山間地に住む人々～」

平成9年3月25日～5月5日

(第3回企画展)

「梅棹忠夫写真展～民族学者 梅棹忠夫の眼～」

平成9年9月12日～10月12日

(第4回企画展)

「第18回国際協力フォトコンテスト入賞作品展」

平成9年12月23日～平成10年1月25日

〈平成10年度〉

(第5回企画展)

「吉田勝美写真展～地球の鼓動が聞こえてくる～」

平成10年6月17日～平成10年7月12日

(第6回企画展)

「長洋弘写真展～帰らなかった日本兵～」

(インドネシア国際協力写真展併設)

平成10年8月16日～9月13日

(第7回企画展)

「有元伸也写真展～西藏より肖像～」

平成10年12月22日～平成11年1月31日

(第8回企画展)

「第19回国際協力フォトコンテスト入賞作品展」

平成11年2月1日～平成11年8月8日

WTC「JICAギャラリー」

所在地：大阪市住之江区南港北1丁目14-16

大阪ワールドトレードセンタービルディング(WTCコスモタワー)51階

開館：11:00～18:00(月曜休館) 入場無料

4. 地域交流

(1) 地域交流

JICAの地方自治体との連携強化の方針に沿って平成8年10月1日に大阪国際センターと関西支部は統合され、センターが関西地域におけるJICA事業の統合的窓口機能を担うこととなった。

昨今、地方自治体、国際交流団体、NGO、市民グループによる開発途上国への国際協力事業は増大しており、これらの団体と連携した多様な協力形態、機動的かつ柔軟性のある国際協力事業を開発する必要が高まっている。

このような状況の中、関西地域においても、「国際参加型」の国際協力事業推進の目的のもと、より一層、地域市民とJICA、特に研修員との交流が重要になっている。そのため大阪国際センターでは、平成9年度から従来、研修員福利厚生として扱ってきた交流プログラムを「地域交流」と見なし、市民・研修員相互の交流が促進される様な環境整備に努めている。

〔平成9年度地域交流実績〕

No.	日時	福利厚生活動名	主催団体 依頼団体	会場	研修員 人数	市民人数	備考 (関係研修コース)
1	4月6日(日)	サクラフェスティバル	茨木西ロータリークラブ	茨木弁天宗	24	19	
2	4月25日(金)	フィエスタデメヒコ	叺箕面市国際交流協会	箕面市メイプルシアター	50	34	
3	4月27日(日)	大阪ジュニアバンド見学	世界友の会	森ノ宮ピロティホール	10	2	
4	4月27日(日)	パーティー	Lib 豊川	-	5	5	
5	5月3日(土)	食博覧会とJICAギャラリーツアー	OSIC	INTEX OSAKA およびWTCコスモタワー	50	50	
6	5月4日(日)	お茶と着物着付け	茨木姉妹都市活動室(IIN)	OSIC食堂	-	約20	
7	5月10日(土)	エキスポランド泰始皇帝と大兵馬俑展見学	OSIC	エキスポランド	20	15	別途、研修員14名にチケット贈与。
8	5月17日(土)	茨木ロータリークラブ会員職場訪問	茨木ロータリークラブ	大阪府中央卸売市場(青果)、茨木市消防本部、サッポロビール茨木工場、キングマンション新築現場(吹田市)	15	17	
9	5月24日(土)	第1回大阪商工会議所ホームビジット	大阪商工会議所	-	18	18	
10	5月31日(土)	倉敷市ホームステイ	倉敷市国際親善協会、世界友の会共催	岡山県倉敷市	20	20	～6/1まで1泊2日
11	6月1日(日)	WORLD SPORTS CARNIVAL	(社)川西青年会議所	川西市立北小学校(兵庫県川西市)	50	19	
12	6月19日(木)	SOPRAプロムナードコンサート	SOPRAプロムナードコンサート	大阪市中央公会堂	-	10	
13	6月21日(土)	ミニバザー	茨木姉妹都市活動室(IIN)	茨木市福祉文化会館	19	19名以上	
14	6月21日(土)	The traditional folk music festival	日本民謡朝鳳連合会	茨木市市民会館	10	5	
15	6月28日(土)	ホームビジット	国際交流の会豊中(Toyonaka International Friendship Association:TIFA)		20	14	
16	7月6日(日)	七夕交流会	茨木姉妹都市活動室(IIN)	OSIC(食堂)	自由参加	約40	
17	7月13日(日)	ホームビジット	リブ豊川		6	6	

No.	日 時	福利厚生活動名	主催団体 依頼団体	会 場	研修員 人 数	市民人数	備 考 (関係研修コース)
18	7月25日(金)	天神祭奉納花火&舟遊び 観覧	OSIC	大川ベリ(大 阪市)	35	35	読売新聞村上氏、 大阪市長公室コ ウドウ課、大阪 市観光協会の紹 介による。 また、大阪市関 係のいくつかの 研修機関が別途 当該研修コース の研修員を招待 した。
19	8月24日(日)	道祖本地区盆踊り	道祖本地区盆 踊り大会実行 委員会	茨木市立道祖 本解放会館前 広場	自由 参加	約50	
20	8月30日(土)	国際夏祭り	OSIC及び近隣 町内会等	OSIC(駐 車場、テニスコ ート、ミニサッカ ーコート)	-	180	総参加者人数約 1,000名(JICA, JICE, TBSスタッ フ含む)
21	9月6日(土)	収穫祭	JICA近畿支部 他	国際交流ふれ あい農園(京 都府福知山市)	16	16	坂井美和、津田 俊彦2国内協力 員が同行
22	9月13日(土)	天体観測会	茨木市立道祖 本青少年会館	OSIC(ミニサッ カーコート及 び駐車場)			雨天中止(順延 予定)
23	9月20日(土)	第2回大阪商工会議所ホ ームビジット	大阪商工会議所	-	18	18	
24	9月20日(土)	定例茨木市内ツアー(研 修員と茨木市民の交流会)	茨木市、茨木 市国際親善都 市協会及び OSIC	サッポロビー ル茨木工場他	15	18	通算2回目
25	9月21日(日)	関西外大学生との交流 「弘法祭りフリーマーケッ トツアー」	関西外国語大 学国際親善部	東寺(京都市)	10	15	
26	10月5日(日)	SALSABOR	大阪市青少年 地域国際交流 会(OYIF)	大正会館(大 阪市大正区)	-	23	
27	10月10日(金)	郡山地区体育祭	郡山地区体育 祭実行委員会	郡山小 学 校 (茨木市)	20	20	
28	10月25日(土)	大阪市都市環境技術者会 との交流会	大阪市都市環 境技術者会	生き生き地球 館(大阪市鶴 見区)	-	18	大阪市内で研修実 施の都市環境分 野4コースの研 修員が主体
29	11月15日(土)	第3回大阪商工会議所ホ ームビジット	大阪商工会議所	-	18	18	
30	11月21日(金)	国際親善の集い	OSIC		-	230	
31	11月22日(土)	World Cup Osaka '97	国立循環器病 センター他	吹田市立総合 運動場	28	27	白井、実川が同行
32	12月6日(土)	世界友の会「パーティー」	世界友の会	ホテルニュー オータニ	20	15	

No	日時	福利厚生活動名	主催団体 依頼団体	会場	研修員 人数	市民人数	備考 (関係研修コース)
33	12月7日(日)	茨木市国際交流の集い	茨木市及び茨木市国際親善都市協会	茨木市役所南館10階	19	24	40と同じプログラム
34	12月7日(日)	茨木市日本語スピーチ大会	茨木市及び茨木国際親善都市協会	茨木市役所南館10階	—	4	39と同じプログラム
35	12月19日(金)	もちつき大会	OSIC	OSIC玄関	—	30	
36	12月20日(土)	日本料理講習会	CHATTER BOX	箕面市東生涯学習センター	6	2	
37	12月20日(土)	茨木姉妹都市活動室 Year End Party	茨木姉妹都市活動室	茨木市福祉会館	20	11	
38	12月26日(金)	年末ボウリング大会	OSIC	BIG BOX	30	16	
39	12月30日(火)	年末年始第1回バスツアー (琵琶湖、比叡山)	OSIC	琵琶湖、比叡山	50	44	
40	1月2日(金)	年末年始第2回バスツアー (大阪市内)	OSIC	大阪天満宮、大坂城、海遊館	50	43	
41	1月17日(土)	おりがみ大会	CHATTER BOX	箕面市立間谷自治会館	6	7	
42	2月15日(日)	ハンディクラフト	茨木姉妹都市活動室 (IIN)	OSICオリエンテーションルーム	15		
43	2月21日(土)	第4回大阪商工会議所ホームビジット	大阪商工会議所	—	21		
44	2月22日(日)	Making Rice Cake Rally	世界を結ぶネットワーク “吹田”	吹田市立大池公民館	20		
45	3月14日(土)	研修員と茨木市民の交流 ふれあい交流	茨木市、茨木市国際親善都市協会及びOSIC				
46	3月28日(土)	TIFAホームビジット	TIFA	豊中市内各家庭	15		

〔平成10年度地域交流実績〕

No.	日時	プログラム名	主催団体 依頼団体	会場	研修員 人数	市民人数	備考 (関係研修コース)
1	4月4日(土)	サクラフェスティバル	茨木西ロータリークラブ	弁天宗(茨木市)	35		
2	4月28日(火)	ミニサッカーコートオープニングセレモニー	JICA大阪国際センター	JICA大阪国際センター	約60		日墨交流研修員のエキシビジョンマッチを実施
3	5月9日(日)	CHATTER BOXピクニック	CHATTER BOX(箕面市)	万博公園	9		募集取りまとめ協力
4	5月16日(土)	倉敷ホームステイ	世界友の会関西支部、倉敷国際交流協会	岡山県倉敷市各家庭	20		～5/17(日)
5	5月16日(土)	ローズフェスティバル	国際交流の会豊中(TIFA)	オープン化粧品(株)ローズシャトー	14		
6	5月23日(土)	大阪商工会議所ホームビジット(第1回)	大阪商工会議所	大阪府各家庭	18		
7	5月31日(日)	宇治ツアー	関西外国語大学国際親善部	京都府宇治市	9		
8	6月7日(日)	箕面国際スポーツフェスタ	(株)箕面青年会議所	箕面市立スカイアリーナ	105		インドネシア青年招へい64名の参加を含む
9	6月7日(日)	レッツ・チャレンジ・ザ・ギネス	(株)川西青年会議所	川西市立川西北小学校	29		
10	6月20日(土)	CHATTER BOXクッキング	CHATTER BOX(箕面市)	箕面市東生涯学習センター	6		
11	6月20日(土)	茨木市政50周年記念全国盆踊りコンクール大会	茨木市民民謡民舞同好連盟	茨木市民会館	8		盆踊りの事前練習を2回実施
12	7月4日(土)	TIFAホームビジット	国際交流の会豊中(TIFA)	豊中市内各家庭	15		
13	7月5日(日)	着物着付け	茨木姉妹都市活動室	JICA大阪国際センター	約40		
14	7月12日(日)	ざ・じゃばんねこんさーとがんばれ!ニッポンの音 和太鼓編 観覧	ざ・じゃばんねこんさーと 振興会	茨木市民会館	7		
15	7月25日(土)	I-HOUSEホームビジット	JICA大阪国際センター	大阪府内各家庭	20		
16	8月1日(土)	長野県国際協力キャンペーン	JICA駒ヶ根青年海外協力隊訓練所、(株)駒ヶ根青年会議所	JICA駒ヶ根青年海外協力隊訓練所 他	30		
17	8月8日(土)	イーストアベニュー小野原東「納涼会」	イーストアベニュー小野原東自治会	8号棟集会場前	1		
18	8月11日(火)	淀川工業高等学校プラスバンドコンサート	茨木オークライオンズクラブ	茨木市民会館	14		
19	8月22日(土)	国際交流収穫祭&ホームステイ	京都府北部国際交流協会	国際交流ふれあい農園(京都府福知山市)	20		

No.	日時	プログラム名	主催団体 依頼団体	会場	研修員 人数	市民人数	備考 (関係研修コース)
20	8月24日(月)	道祖本地区盆踊り大会	道祖本地区盆踊り大会実行委員会	茨木市立道祖本解放会館	約15		
21	8月25日(火)	世界マリンバフェスティバルOSAKA吹田	世界マリンバフェスティバルOSAKA吹田実行委員会	吹田市文化会館メイシアター	14		
22	8月26日(水)	世界マリンバフェスティバルOSAKA吹田	世界マリンバフェスティバルOSAKA吹田実行委員会	吹田市文化会館メイシアター	13		
23	8月29日(土)	国際夏祭り	OSIC、近隣町内会、国際交流団体等	JICA大阪国際センター	約250		参加者約800人
24	9月12日(土)	Hippo Family Club ホームステイ	Hippo Family Club	同クラブ会員家庭	20	20	ホームステイ受入家族は20軒
25	9月15日(水)	だんじりツアー	関西外国語大学国際親善部		7		
26	9月18日(金)	川西市国際交流協会ボランティア一行来訪(交流)	川西市国際交流協会		—		ホームステイに関する研修を実施
27	9月19日(土)	大阪商工会議所ホームビジット(第2回)	大阪商工会議所	大阪府各家庭	16		
28	9月20日(日)	茨木市太田地区公民館グループ連絡会 国際交流	太田地区公民館グループ連絡会	茨木市太田地区公民館	5		
29	9月26日(土)	定例茨木市内ツアー(研修員と茨木市民の交流)	茨木市、茨木市国際親善都市協会及びOSIC		20	20	
30	10月24日(土)	大阪商工会議所ホームビジット(第3回)	大阪商工会議所(OCCI)	大阪府各家庭	18		
31	10月31日(土)	茨木ファミリーコンサート	土方サロンコンサート	茨木市民会館	約30		
32	10月31日(土)	われら地球人	香川万紀(青年海外協力隊セネガルOG)	交野市ゆうゆうセンター	1		11/1も実施
33	11月3日(火)	ワンワールドフェスティバル	JICA他	鶴見緑地(大阪市)	38		JICAブースで研修員と帰国隊員を講師とした語学
34	11月6日(金)	国際親善の集い	OSIC	JICA大阪国際センター	約270		
35	11月7日(土)	マンドリンコンサート	エルマノマンドリンオーケストラ	茨木市民総合センター	15		
36	11月21日(土)	CHATTER BOXハイキング	CHATTER BOX(箕面市)	箕面滝	8	—	
37	11月23日(月)	もみじまつり	日本クリスチャンアカデミー関西セミナーハウス	日本クリスチャンアカデミー関西セミナーハウス	18	—	「NGO連携」コース11名及び一般募集7名

No	日時	プログラム名	主催団体 依頼団体	会場	研修員 人数	市民人数	備考 (関係研修コース)
38	11月29日(日)	茨木姉妹都市活動室ホーム ビジット	茨木姉妹都市 活動室 (IIN)	茨木市各家庭	20	—	20家庭
39	12月5日(土)	箕面中央ロータリークラ ブ例会	箕面中央ロー タリークラブ	JICA大阪国際 センター	2	8	「メカトロニクス」 2名参加。他に 留学生等も参加
40	12月11日(金)	'98年忘れディスカバー ティー	JICA大阪国際 センター	JICA大阪国際 センター	150	60	
41	12月30日(木)	年末バスツアー	JICA大阪国際 センター	高野山	48	—	
42	1月2日(土)	正月バスツアー	JICA大阪国際 センター	淡路島	45	—	
43	1月23日(土)	茨木市「国際交流のつとい」	茨木市市長公 室自治振興課	茨木市役所南 館10階	19		「地方自治行政」 9名及び日本語 受講者4名
44	1月31日(日)	ハンディクラフト	茨木姉妹都市 活動室 (IIN)	JICA大阪国際 センター			木津京子22-7862
45	2月20日(土)	大阪商工会議所ホームビ ジット (第4回)	大阪商工会議 所 (OCCI)	大阪府各家庭	18		
46	2月21日(日)	着物着付けとお茶	高槻婦人教室 あおぎり83- 1446三好ms.				
47	2月21日(日)	もちつき大会	世界を結ぶネッ トワーク吹田 西川氏				
48	3月5日(金)	ディスカバーティー	JICA大阪国際 センター	JICA大阪国際 センター	60	60	
49	3月6日(土)	茨木姉妹都市活動室着物 着付け	茨木姉妹都市 活動室 (IIN) 中込担当	JICA大阪国際 センター			
50	3月13日(土)	定例茨木市内ツアー (研 修員と茨木市民の交流)	茨木市、茨木 市国際親善都 市協会及び OSIC	茨木市内			
51	3月20日(土)	国際交流の会豊中ホーム ビジット	国際交流の会 豊中 (TIFA)	豊中市各家庭	7		

(2) 国際夏祭り

地域交流の中で、もっとも大規模なものが、「国際夏祭り」である。平成6年の大阪国際センター設立以来、周辺地域（茨木市豊川、道祖本地区及び箕面市小野原地区）の市民と研修員を含めたセンターの親睦を深める目的のもと、毎年8月最後の土曜日に開催されている。

センターへの市民の理解度が高まるにつれ、茨木、箕面両市民や他地域の市民の参加が増え、平成9・10年度とも約1,200名（JICA研修員を含む）の参加がある。毎年、夏祭りには市民ボランティア100名ほどに御協力を頂いている。